

令和4年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		大阪府		市町村類型	政令指定都市	指定団体等の指定状況		区分	令和4年度(千円)	令和3年度(千円)	区分	令和4年度(千円・%)	令和3年度(千円・%)					
						財政健全化等	×	歳入総額	1,938,280,969	2,003,680,509	実質収支比率	3.0	3.4					
市町村名	大阪市	地方交付税種地	1-10	財源超過	×	歳出総額	1,906,782,922	1,962,155,183	経常収支比率	92.4	85.1							
				首都	×	歳入歳出差引	31,498,047	41,525,326	(※1)	(94.1)	(91.4)							
				近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	5,725,087	10,728,862	標準財政規模	872,042,473	899,578,624							
					×	実質収支	25,772,960	30,796,464	財政力指数	0.92	0.92							
人口	令和2年国調(人)	2,752,412 <th colspan="3" rowspan="3">産業構造 (※5)</th> <th>中部</th> <th>×</th> <th>単年度収支</th> <td>-5,023,504</td> <td>17,755,435</td> <th>公債費負担比率</th> <td>15.5</td> <td>16.1</td>	産業構造 (※5)			中部	×	単年度収支	-5,023,504	17,755,435	公債費負担比率	15.5	16.1					
	平成27年国調(人)	2,691,185 <th>過疎</th> <th>×</th> <th>積立金</th> <td>32,179,547</td> <td>46,706,101</td> <th>健全化判断比率</th> <td></td> <td></td>				過疎	×	積立金	32,179,547	46,706,101	健全化判断比率							
	増減率 (％)	2.3 <th>山振</th> <th>×</th> <th>繰上償還金</th> <td>0</td> <td>0</td> <th>実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>				山振	×	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-					
住民基本台帳人口 (※7)	令05.01.01(人)	2,741,587 <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">令和2年国調</th> <th rowspan="2">平成27年国調</th> <th>低開発</th> <th>×</th> <th>積立金取崩し額</th> <td>604</td> <td>357,640</td> <th>連結実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>	区分	令和2年国調	平成27年国調	低開発	×	積立金取崩し額	604	357,640	連結実質赤字比率	-	-					
	うち日本人(人)	2,589,027 <th>第1次</th> <td>1,144</td> <td>1,122<th>指数表選定</th><td>○<th>実質単年度収支</th><td>27,155,439</td><td>64,103,896</td><th>実質公債費比率</th><td>1.3</td><td>1.8</td></td></td>				第1次	1,144	1,122 <th>指数表選定</th> <td>○<th>実質単年度収支</th><td>27,155,439</td><td>64,103,896</td><th>実質公債費比率</th><td>1.3</td><td>1.8</td></td>	指数表選定	○ <th>実質単年度収支</th> <td>27,155,439</td> <td>64,103,896</td> <th>実質公債費比率</th> <td>1.3</td> <td>1.8</td>	実質単年度収支	27,155,439	64,103,896	実質公債費比率	1.3	1.8		
	令04.01.01(人)	2,732,197 <th rowspan="2">第2次</th> <td>0.1</td> <td>0.1<th></th><th></th><th></th><td></td><td></td><th>将来負担比率</th><td>-</td><td>-</td></td>	第2次	0.1	0.1 <th></th> <th></th> <th></th> <td></td> <td></td> <th>将来負担比率</th> <td>-</td> <td>-</td>						将来負担比率	-	-					
	うち日本人(人)	2,593,449 <th>第3次</th> <td>211,891</td> <td>220,980<th></th><th></th><th></th><td></td><td></td><th>資金不足比率 (※4)</th><td></td><td></td></td>		第3次	211,891	220,980 <th></th> <th></th> <th></th> <td></td> <td></td> <th>資金不足比率 (※4)</th> <td></td> <td></td>						資金不足比率 (※4)						
	増減率 (％)	0.3 <th></th> <td>20.7</td> <td>22.7<th></th><th></th><th></th><td></td><td></td><th></th><td></td><td></td></td>		20.7	22.7 <th></th> <th></th> <th></th> <td></td> <td></td> <th></th> <td></td> <td></td>													
	うち日本人(%)	-0.2 <th></th> <td>808,471</td> <td>752,032<th></th><th></th><th></th><td></td><td></td><th></th><td></td><td></td></td>		808,471	752,032 <th></th> <th></th> <th></th> <td></td> <td></td> <th></th> <td></td> <td></td>													
面積 (km ²)	225.33 <th></th> <td>79.1</td> <td>77.2<th></th><th></th><td></td><td></td><th></th><td></td><td></td></td>				79.1	77.2 <th></th> <th></th> <td></td> <td></td> <th></th> <td></td> <td></td>												
人口密度 (人/km ²)	12,215 <th></th> <td></td> <td><th></th><th></th><td></td><td></td><th></th><td></td><td></td></td>					<th></th> <th></th> <td></td> <td></td> <th></th> <td></td> <td></td>												
世帯数 (世帯)	1,469,718 <th></th> <td></td> <td><th></th><th></th><td></td><td></td><th></th><td></td><td></td></td>					<th></th> <th></th> <td></td> <td></td> <th></th> <td></td> <td></td>												
職員の状況 (※8)																		
特別職等	区分	定数	1人あたり平均 給料月額(百円)	一般職員等 (※6)	区分	職員数 (人)	給料月額 (百円)	1人あたり平均 給料月額(百円)	地方債現在高	1,628,134,338	1,702,596,158							
	市区町村長	1	10,014 <th>一般職員</th> <td>20,684</td> <td>62,093,368</td> <td>3,002<th>うち公的資金</th><td>210,484,267</td><td>232,501,614</td></td>		一般職員	20,684	62,093,368	3,002 <th>うち公的資金</th> <td>210,484,267</td> <td>232,501,614</td>	うち公的資金	210,484,267	232,501,614							
	副市区町村長	3	9,426 <th>うち消防職員</th> <td>3,557</td> <td>10,368,655</td> <td>2,915<th>地方債現在高 (臨時財政対策債除き)</th><td>927,824,787</td><td>945,248,993</td></td>		うち消防職員	3,557	10,368,655	2,915 <th>地方債現在高 (臨時財政対策債除き)</th> <td>927,824,787</td> <td>945,248,993</td>	地方債現在高 (臨時財政対策債除き)	927,824,787	945,248,993							
	教育長	1	8,163 <th>うち技能労務職員</th> <td>4,071</td> <td>11,423,226</td> <td>2,806<th>債務負担行為額 (支出予定額)</th><td>265,408,359</td><td>296,523,818</td></td>		うち技能労務職員	4,071	11,423,226	2,806 <th>債務負担行為額 (支出予定額)</th> <td>265,408,359</td> <td>296,523,818</td>	債務負担行為額 (支出予定額)	265,408,359	296,523,818							
	議会議長	1	9,500 <th>教育公務員</th> <td>11,752</td> <td>38,555,710</td> <td>3,281<th>収益事業収入</th><td>10,059,185</td><td>9,441,631</td></td>		教育公務員	11,752	38,555,710	3,281 <th>収益事業収入</th> <td>10,059,185</td> <td>9,441,631</td>	収益事業収入	10,059,185	9,441,631							
	議会副議長	1	8,440 <th>臨時職員</th> <td>840</td> <td>2,155,440</td> <td>2,566<th>土地開発基金現在高</th><td>20,642,806</td><td>20,642,806</td></td>		臨時職員	840	2,155,440	2,566 <th>土地開発基金現在高</th> <td>20,642,806</td> <td>20,642,806</td>	土地開発基金現在高	20,642,806	20,642,806							
	議会議員	81	7,740 <th>合計</th> <td>33,276</td> <td>102,804,518</td> <td>3,089<th rowspan="2">積立金 現在高</th><th>財政調整基金</th><td>245,229,407</td><td>212,730,563</td></td>		合計	33,276	102,804,518	3,089 <th rowspan="2">積立金 現在高</th> <th>財政調整基金</th> <td>245,229,407</td> <td>212,730,563</td>	積立金 現在高	財政調整基金	245,229,407				212,730,563			
										減債基金	-				-			
					ラスパイレス指数	97.1 <th></th> <td></td> <th>その他特定目的基金</th> <td>64,459,586</td> <td>64,327,741</td> <td></td> <td></td>			その他特定目的基金	64,459,586	64,327,741							
一般会計等の一覧 項番		会計名	事業会計の一覧 項番		会計名	公営企業 (法適) の一覧 項番		会計名	公営企業 (法非適) の一覧 項番		会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番		組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番		団体名	(※3)
(1) 一般会計			(5) 駐車場事業会計			(9) 水道事業会計			(14) 食肉市場事業会計			(15) 関西広域連合			(22) 大阪市高速電気軌道 (株)			
(2) 母子父子寡婦福祉貸付資金会計			(6) 国民健康保険事業会計			(10) 工業用水道事業会計						(16) 大阪府後期高齢者医療広域連合 (一般会計)			(23) (株) 大阪メトロサービス			
(3) 心身障害者扶養共済事業会計			(7) 介護保険事業会計			(11) 中央卸売市場事業会計						(17) 大阪府後期高齢者医療広域連合 (後期高齢者医療特別会計)			(24) 大阪地下街 (株)			
(4) 公債費会計			(8) 後期高齢者医療事業会計			(12) 下水道事業会計						(18) 淀川左岸水防事務組合			(25) (株) 大阪メトロアドエラ			
						(13) 港営事業会計						(19) 淀川右岸水防事務組合			(26) T U C K N A L (株)			
												(20) 大和川右岸水防事務組合			(27) 大阪メトロビジネスアソシエイト (株)			
												(21) 大阪広域環境施設組合			(28) 大阪シティバス (株)			
															(29) (公大) 大阪			
															(30) (地独) 大阪市博物館機構			
															(31) (地独) 大阪産業技術研究所			

(注釈) ※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」「猶予特例債」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
※7：人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※8：職員の状況については、令和4年度地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）					歳出の状況（単位 千円・％）						
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分		目的別歳出の状況（単位 千円・％）				
												決算額 (A)	構成比 (A)	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
地方税		785,945,580	40.5	722,829,788	79.3	普通税		693,910,716	88.3	23,784,945		2,189,618	0.1	-	2,187,450	
地方譲与税		6,160,073	0.3	6,160,073	0.7	法定普通税		693,910,716	88.3	23,784,945		122,865,567	6.4	3,410,353	102,234,723	
利子割交付金		403,654	0.0	403,654	0.0	市町村民税		348,930,977	44.4	23,784,945		841,600,219	44.1	7,035,670	323,590,494	
配当割交付金		3,379,074	0.2	3,379,074	0.4	個人均等割		4,743,122	0.6	-		149,501,453	7.8	6,751,944	90,602,338	
株式等譲渡所得割交付金		2,425,703	0.1	2,425,703	0.3	所得割		228,690,906	29.1	-		206,315	0.0	-	173,434	
分離課税所得割交付金		487,286	0.0	487,286	0.1	法人均等割		20,075,444	2.6	-		102,879	0.0	-	21,001	
地方消費税交付金		76,769,987	4.0	76,769,987	8.4	法人税割		95,421,505	12.1	23,784,945		27,946,844	1.5	100,872	20,613,796	
ゴルフ場利用税交付金		-	-	-	-	固定資産税		312,976,974	39.8	-		243,171,455	12.8	139,310,709	101,004,467	
特別地方消費税交付金		-	-	-	-	うち純固定資産税		312,724,219	39.8	-		39,934,245	2.1	3,775,027	36,955,801	
自動車取得税交付金		42,222	0.0	42,222	0.0	軽自動車税		2,153,964	0.3	-		281,165,576	14.7	53,095,985	206,142,550	
軽油引取税交付金		10,944,261	0.6	10,944,261	1.2	市町村たばこ税		29,848,801	3.8	-		50,842	0.0	-	842	
自動車税環境性能割交付金		1,790,656	0.1	1,790,656	0.2	鉱産税		-	-	-		194,139,788	10.2	-	169,167,406	
法人事業税交付金		17,929,936	0.9	17,929,936	2.0	特別土地保有税		-	-	-		3,908,121	0.2	-	3,908,121	
地方特例交付金等		3,204,786	0.2	3,204,786	0.4	法定外普通税		-	-	-		-	-	-	-	
個人住民税減収補填特例交付金		3,129,936	0.2	3,129,936	0.3	目的税		92,034,864	11.7	-		-	-	-	-	
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金		74,850	0.0	74,850	0.0	法定目的税		92,034,864	11.7	-		-	-	-	-	
地方交付税		46,570,034	2.4	45,232,871	5.0	入湯税		206,714	0.0	-		-	-	-	-	
普通交付税		45,232,871	2.3	45,232,871	5.0	事業所税		28,712,358	3.7	-		-	-	-	-	
特別交付税		1,337,102	0.1	-	-	都市計画税		63,115,792	8.0	-		-	-	-	-	
震災復興特別交付税		61	0.0	-	-	水利地益税等		-	-	-		-	-	-	-	
(一般財源計)		956,053,252	49.3	891,600,297	97.8	法定外目的税		-	-	-		-	-	-	-	
交通安全対策特別交付金		723,125	0.0	723,125	0.1	旧法による税		-	-	-		-	-	-	-	
分担金・負担金		5,335,137	0.3	-	-	合計		785,945,580	100.0	23,784,945		-	-	-	-	
使用料		59,568,803	3.1	13,454,331	1.5	区分		令和4年度		令和3年度		-	-	-	-	
手数料		7,685,181	0.4	-	-	徴収率 (%)	現年・計	99.5	98.7	99.5	98.6	-	-	-	-	
国庫支出金		553,189,267	28.5	-	-		合計	99.0	97.6	99.1	97.5	-	-	-	-	
国有提供交付金(特別区財調交付金)		-	-	-	-		市町村民税	99.0	97.6	99.1	97.5	-	-	-	-	
都道府県支出金		106,205,701	5.5	-	-		純固定資産税	99.8	99.6	99.8	99.5	-	-	-	-	
財産収入		33,648,949	1.7	5,312,201	0.6	公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況				-	-	-	-	
寄附金		872,761	0.0	-	-	合計	179,849,486	実質収支	5,189,336				-	-	-	
繰入金		3,408,200	0.2	-	-	宅地造成	28,046,612	再差引収支	-510,638				-	-	-	
繰越金		41,525,326	2.1	-	-	下水道	23,688,789	加入世帯数(世帯)	404,604				-	-	-	
諸収入		65,891,267	3.4	380,924	0.0	交通	3,908,121	被保険者数(人)	568,405				-	-	-	
地方債		104,174,000	5.4	-	-	市場	2,569,853	被保険者	1人当り	保険税(料)収入額	96	-	-	-	-	
うち減収補填債(特例分)		-	-	-	-	国民健康保険	33,434,915	国庫支出金		-	-	-	-	-	-	-
うち臨時財政対策債		16,023,000	0.8	-	-	その他	88,201,196	保険給付費		343	-	-	-	-	-	-
歳入合計		1,938,280,969	100.0	911,470,878	100.0							213,531,402	11.2	58,698,143	-	
												うち人件費	3,984,046	0.2	3,926,336	-
												普通建設事業費	213,480,560	11.2	58,697,301	-
												うち補助	113,961,669	6.0	4,445,307	-
												うち単独	96,435,005	5.1	54,021,608	-
												災害復旧事業費	50,842	0.0	842	-
												失業対策事業費	-	-	-	-
												歳出合計	1,906,782,922	100.0	1,056,602,423	-

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等 からの 繰入金	地方債 現在高	備考
1 一般会計	1,943,924	1,912,828	31,096	25,773	5,303	2,233,132	
2 母子父子寡婦福祉貸付資金会計	530	128	402	-	5	1,988	
3 心身障害者扶養共済事業会計	523	523	-	-	92	-	
4 公債費会計	629,846	629,846	-	-	408,495	-	
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
計 一般会計等(純計)	2,237,719	2,206,221	31,498	25,773		2,235,121	実質赤字額

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1 駐車場事業会計	2,782	2,540	242	54	-	230	-		
2 国民健康保険事業会計	297,704	292,515	5,189	5,189	34,512	-	-		
3 介護保険事業会計	302,090	301,544	545	545	49,088	-	-		
4 後期高齢者医療事業会計	38,220	35,521	2,699	2,699	8,859	-	-		
5 水道事業会計	60,515	53,735	6,780	28,793	303	98,706	197	-	法適用企業
6 工業用水道事業会計	704	1,057	▲ 352	5,794	3	167	1	-	法適用企業
7 中央卸売市場事業会計	7,658	7,583	75	9,439	1,430	48,175	7,082	-	法適用企業
8 下水道事業会計	76,984	73,866	3,118	38,736	23,689	443,895	271,664	-	法適用企業
9 港営事業会計	13,466	14,309	▲ 843	-	1	139,255	-	-	法適用企業
10 食肉市場事業会計	8,091	8,091	-	-	1,140	6,569	5,150	-	法非適用企業
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
計 公営企業会計等				91,250		736,997	284,093		連結実質赤字額

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1 関西広域連合	2,743	2,681	62	62	72	49	-	
2 大阪府後期高齢者医療広域連合(一般会計)	194	178	16	16	-	-	-	
3 大阪府後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	1,305,178	1,290,844	14,334	14,334	9,500	-	-	
4 淀川左岸水防事務組合	162	157	5	5	-	-	-	
5 淀川右岸水防事務組合	131	126	5	5	-	-	-	
6 大和川右岸水防事務組合	99	96	3	3	-	-	-	
7 大阪広域環境施設組合	23,618	23,618	-	-	10,223	19,692	8,330	
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
計 一部事務組合等				14,424		19,742	8,330	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

	地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体 からの 出資金	当該団体 からの 補助金	当該団体 からの 貸付金	当該団体からの 債務保証に係る 債務残高	当該団体からの 損失補償に係る 債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
1	大阪市高速電気軌道(株)	18,182	529,588	468,831	6,306	-				
2	(株)大阪メトロサービス	176	2,838	50	-	-				
3	大阪地下街(株)	694	12,149	40	-	-				
4	(株)大阪メトロアドエラ	494	1,624	10	-	-				
5	TUCKNAL(株)	12	767	24	-	-				
6	大阪メロビジネスアソシエイト(株)	5	23	10	-	-				
7	大阪シティバス(株)	213	1,817	3	4,145	-				
8	(公大)大阪	▲ 1,107	147,341	102,311	23,417	5,303				
9	(地独)大阪市博物館機構	0	96,243	32,540	3,697	-				
10	(地独)大阪産業技術研究所	85	12,278	4,853	1,185	-				
11	(株)大阪城ホール	1,142	9,004	4,505	-	-				
12	(株)大阪市開発公社	217	11,467	302	-	-				
13	(株)大阪鶴見フラワーセンター	61	1,958	459	-	-				
14	大阪市商業振興企画(株)	1	112	330	-	-				
15	(公財)大阪国際交流センター	▲ 4	667	200	127	-				
16	(公財)関西・大阪二十世紀協会	▲ 1	20,177	167	-	-				
17	○アジア太平洋トレードセンター(株)	1,455	▲ 7,953	11,500		15,621		13,637	13,637	
18	(一財)大阪市文化財協会	12	626	10	-	-				
19	(公財)大阪府暴力追放推進センター	0	2,125	800	-	-				
20	(一財)アジア・太平洋人権情報センター	▲ 32	410	66	-	-				
21	関西高速鉄道(株)	2,768	95,747	19,598	1,855	-				
22	中之島高速鉄道(株)	▲ 2	23,748	8,712	-	-				
23	大阪外環状鉄道(株)	▲ 963	9,525	7,110	-	20,985				
24	西大阪高速鉄道(株)	58	14,425	5,933	-	-				
25	○(株)湊町開発センター	218	5,491	26,890	510	3,104		2,702	2,702	
26	関西国際空港土地保有(株)	19,020	732,979	45,038	-	15,532				
27	(地独)大阪健康安全基盤研究所	221	9,416	3,062	5,958	-				
28	(地独)大阪市民病院機構	7,630	28,622	96	8,152	32,607				
29	(公財)大阪市救急医療事業団	0	7	5	-	-				
30	○大阪市街地開発(株)	685	5,299	342	-	2,681		1,875	187	
31	大阪市住宅供給公社	629	11,278	40	44	28,980				
32	○クリスタ長堀(株)	218	▲ 9,345	2,451	343	7,128		5,558	5,558	
33	クリアウォーター-OSAKA(株)	▲ 150	1,464	200	-	-				
34	(地独)天王寺動物園	58	3,845	4,332	1,733	-				
35	大阪港埠頭(株)	549	32,865	30,568	-	3,217				
36	(株)大阪港トランスポートシステム	435	13,274	4,174						

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

公債費負担の状況

将来負担の状況

実質公債費比率（千円・％）					将来負担比率（千円・％）												
区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	分母比	区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	分母比	内訳		令和2年度	令和3年度	令和4年度	分母比
進 元 利 償 還 金	元利償還金	85,235,502	85,462,826	85,586,318	11.1	将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高	2,454,822,694	2,360,740,382	2,235,120,660	288.6	債 務 負 担 行 為	PFI事業に係るもの	-	-	-	-
	減債基金積立不足算定額	-	-	-	-	債務負担行為に基づく支出予定額	77,407,749	66,267,709	55,728,032	7.2	いわゆる五省協定等に係るもの		11,432,200	9,241,293	7,248,913	0.9	
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	78,417,697	73,889,994	68,475,675	8.8	公営企業債等繰入見込額	282,245,377	280,491,430	284,093,424	36.7	国営土地改良事業に係るもの		-	-	-	-	
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	20,210,910	19,393,580	18,811,247	2.4	組合等負担等見込額	8,514,819	7,958,677	8,329,868	1.8	森林総合研究所等が行う事業に係るもの		-	-	-	-	
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	643,973	600,357	359,005	0.0	退職手当負担見込額	229,242,445	216,729,846	216,488,299	28.0	地方公務員等共済組合に係るもの		-	-	-	-	
	債務負担行為に基づく支出額（公債費に準ずるもの）	11,126,473	11,259,294	11,285,787	1.5	設立法人等の負債額等負担見込額	25,577,600	23,831,768	22,085,313	2.9	依頼土地の買い戻しに係るもの		-	-	-	-	
	一時借入金の利息	-	-	-	-	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額	-	-	-	-	社会福祉法人の施設建設費に係るもの		-	-	-	-	
	合計	(A)	195,634,555	190,606,051	184,518,032	-	連結実質赤字額	-	-	-	-		損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-
	内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	分母比	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	引き受けた債務の履行に係るもの		-	-	-	-	
	合計	(E)	3,077,810,684	2,956,019,812	2,821,845,596	-	その他上記に準ずるもの	-	-	-	-		その他上記に準ずるもの	65,975,549	57,026,416	48,479,119	6.3
債 務 負 担 行 為	PFI事業に係るもの	-	-	-	-	充当可能財源等	充当可能基金	897,658,250	908,767,115	932,391,241	120.4	企 業 債 等 繰 入 見 込 額	下水道事業会計	272,536,191	269,538,198	271,663,505	35.1
	いわゆる五省協定等に係るもの	1,756,501	2,190,907	1,992,380	0.3	充当可能特定歳入	786,137,169	819,578,090	855,139,167	110.4	中央卸売市場事業会計		9,092,388	8,619,534	7,081,744	0.9	
	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-	基準財政需要額算入見込額	1,353,105,031	1,365,738,088	1,342,443,967	173.3	食肉市場事業会計		506,096	2,128,302	5,150,263	0.7	
	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-	合計	(F)	3,036,900,450	3,094,083,293	3,129,974,375	-		水道事業会計	109,692	204,930	197,411	0.0
	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-	将来負担比率((E)-(F))/((C)-(D))×100	5.3	-	-	-	その他の会計		1,010	466	501	0.0	
	損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-	健全化判断比率	令和4年度	早期健全化基準	財政再生基準	実質赤字比率	11.25		20.00	実質公債費比率	1.3	25.0	35.0
	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	連結実質赤字比率		16.25	30.00									
	その他上記に準ずるもの	9,369,972	9,068,387	9,293,407	1.2		実質公債費比率	25.0	35.0								
	利益補給に係るもの	-	-	-	将来負担比率		400.0	-									
	特定財源の額	(B)	80,872,856	80,176,771	81,092,104		-	健全化判断比率	令和4年度		早期健全化基準		財政再生基準		実質赤字比率	11.25	20.00
標準財政規模	(C)	864,930,635	899,578,624	872,042,473	-	実質公債費比率	1.3	25.0	35.0	将来負担比率	400.0	-					
算入公債費等の額	(D)	101,010,301	99,571,902	97,630,004	-	将来負担比率	400.0	-	-	将来負担比率	400.0	-					
算入公債費等の額	(C)-(D)	763,920,334	800,006,722	774,412,469	-	将来負担比率	400.0	-	-	将来負担比率	400.0	-					
実質公債費比率	(単年度)	1.8	1.4	0.7	-	将来負担比率	400.0	-									

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人	口	2,741,587	人(R5.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%								
うち	日本人	2,589,027	人(R5.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率	-	%						
面積	総額	225.33	k㎡	実	質	公	債	費	比	率	1.3	%							
歳入	総額	1,938,280,969	千円	将	来	負	担	比	率	-	%								
歳出	総額	1,906,782,922	千円	市	町	村	類	型		H30	政令市	R01	政令市	R02	政令市				
実質	収支	25,772,960	千円	(	年	度	毎	)		R03	政令市	R04	政令市						
標準	財政規模	872,042,473	千円																
地方債	現在高	1,628,134,338	千円																

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

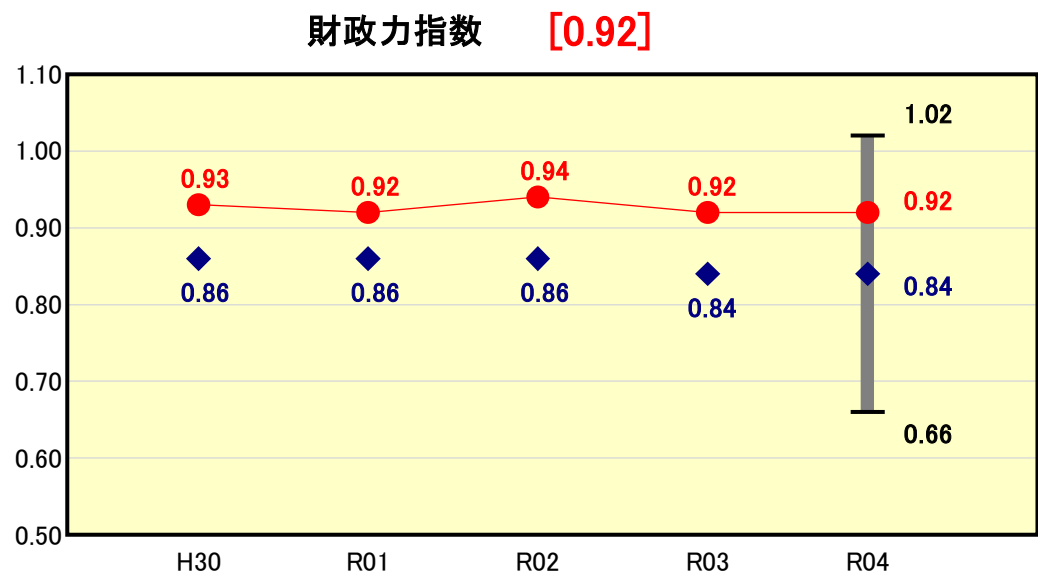
※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパイレス指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。



財政力



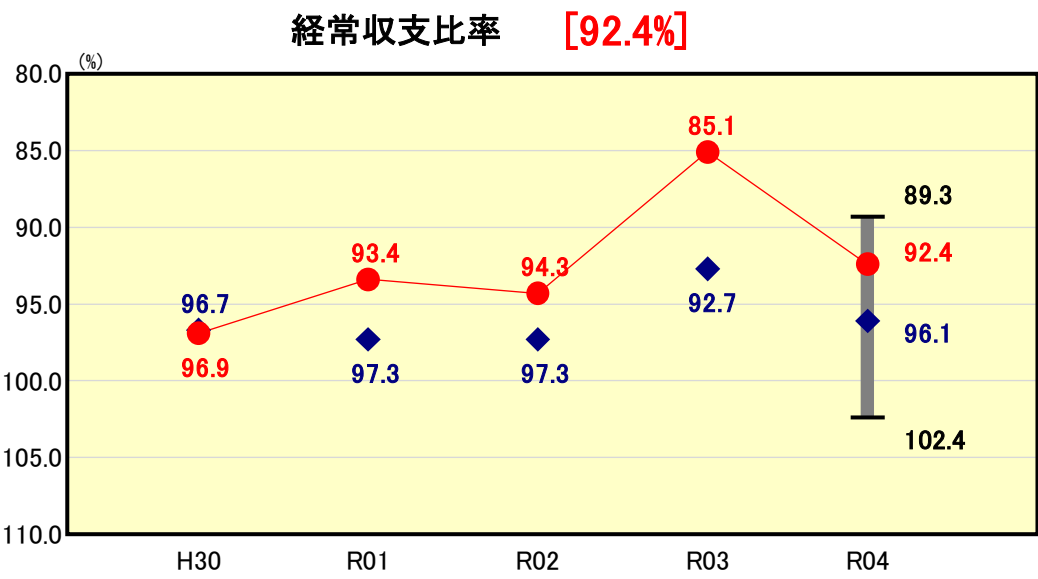
財政力指数の分析欄

本市の財政力指数は0.92～0.94と、他の政令市に比べ高い水準で推移しているが、地方交付税の交付団体であり、令和4年度は臨時財政対策債(※)による補填措置が講じられている。(発行可能額:320億円)

令和4年度の財政力指数は、固定資産税の増などにより基準財政収入額が増となっているものの、社会保障関係経費の増などにより基準財政需要額が増となったことから、前年度と同じ指数となっている。

(※)地方全体の財源不足に対処するため、特例的に発行する地方債であり、償還に要する費用は後年度の地方交付税算定における基準財政需要額に全額算入される。

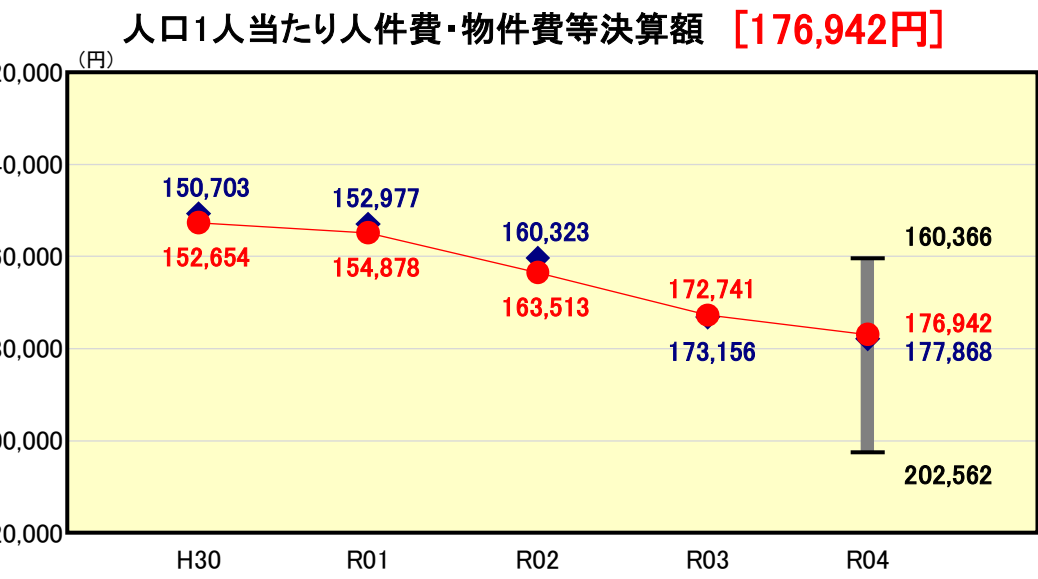
財政構造の弾力性



経常収支比率の分析欄

地方税が増加したものの、地方交付税・臨時財政対策債などの経常一般財源の大幅な減に加え、障がい者自立支援給付費などの経常的な扶助費が増となったことなどにより、前年度決算と比較して7.3ポイント悪化した。引き続き類似団体内平均を大きく下回っている。

人件費・物件費等の状況

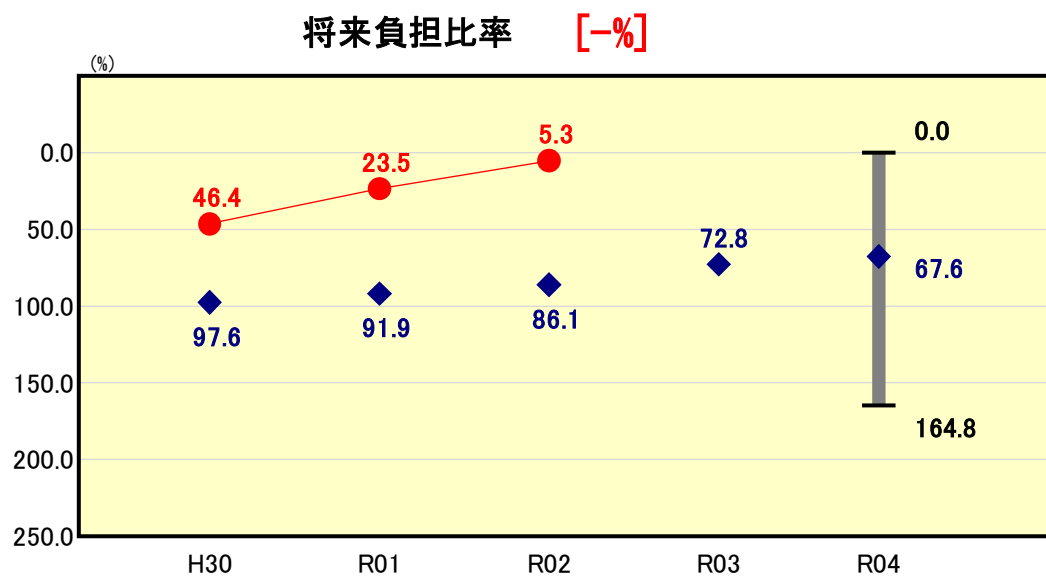


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

この間の市政改革の取組で、施策・事業の見直しに取り組んできており、一定の成果もあげていることなどから、引き続き類似団体内平均と概ね同水準となっている。

令和4年度 大阪府大阪市

将来負担の状況

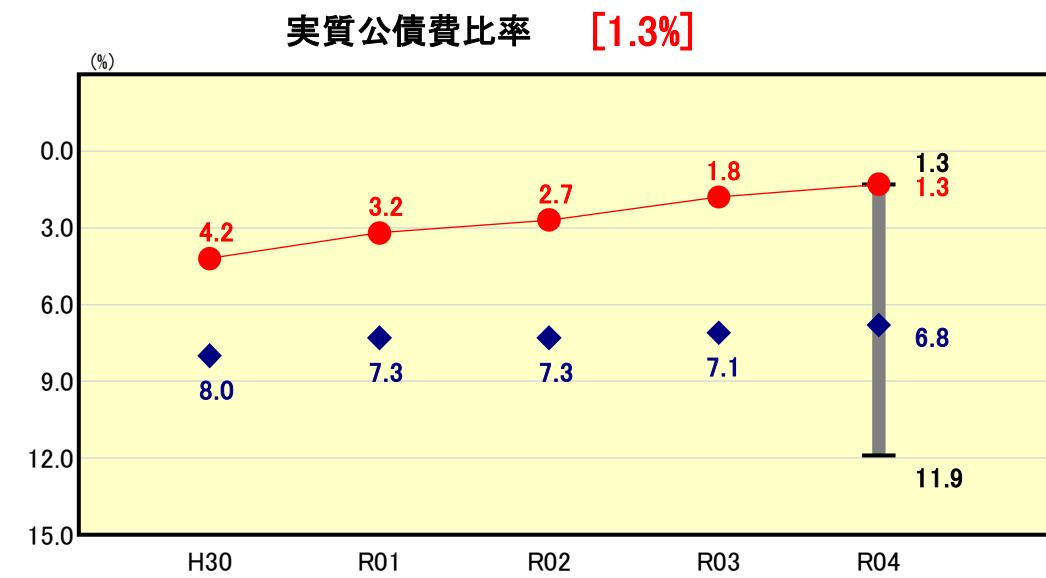


将来負担比率の分析欄

この間、地方債残高が着実に減少していることから、令和3年度、令和4年度は充当可能財源等が将来負担額を上回ったため、将来負担比率はない。

今後も引き続き市債残高のマネジメントに取り組む。

公債費負担の状況

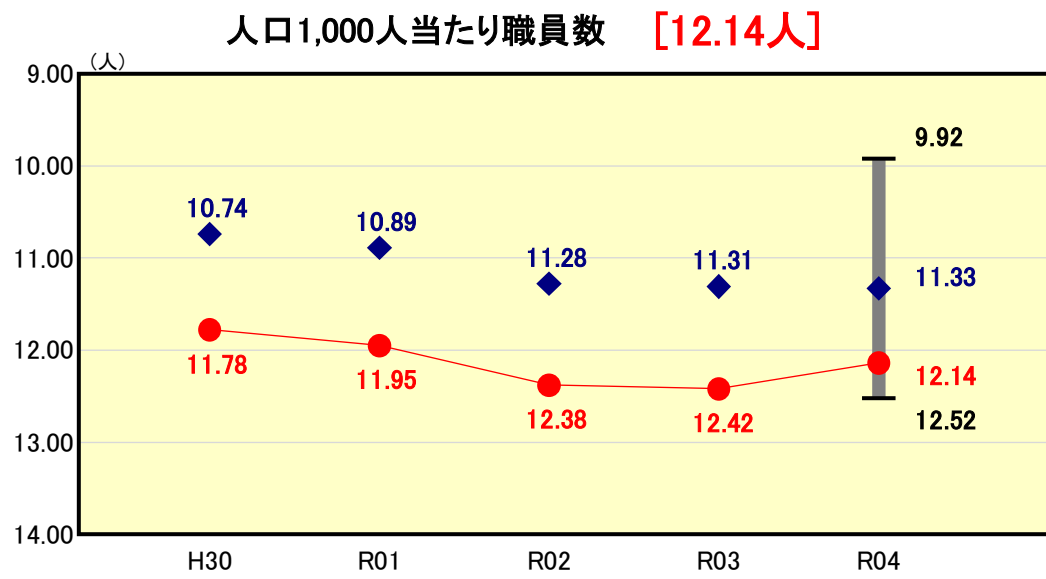


実質公債費比率の分析欄

地方債残高の減少や地方債の平均利率の減による利子の減などにより毎年度着実に改善しており、令和4年度についても、引き続き類似団体中最も低い水準となっている。

今後も引き続き市債残高のマネジメントに取り組む。

定員管理の状況



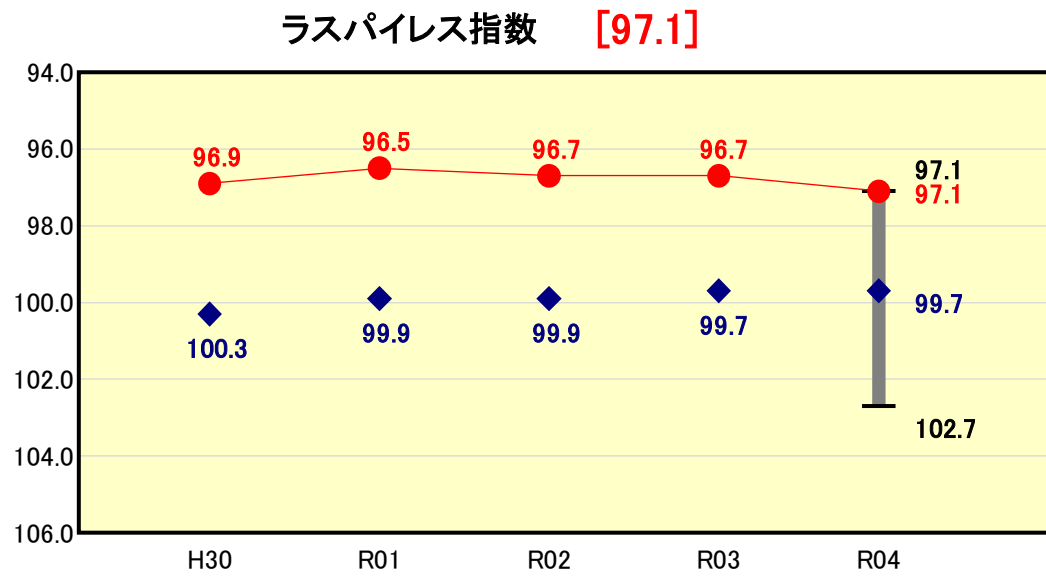
人口1,000人当たり職員数の分析欄

万博・IRの推進及び新型コロナウイルス感染症対応等に係る臨時的増員や児童虐待防止等の推進に係る増員を行ったものの、令和4年度から大阪市の高等学校等の大阪府への移管に伴う約1,100人の教職員の減員などから、令和4年4月1日の職員数は33,276人(前年比▲647人)となっており、人口千人あたりの職員数は昨年と比較して概ね横ばい(▲0.28人)となっている。

なお、本市では平成18年度から効果的・効率的な行財政運営をめざして市政改革を進めてきており、平成24年7月に策定した「市政改革プラン」や、平成28年8月に策定した「市政改革プラン2.0」に基づき人員見直しの取組を進めてきた。同プランに基づき、令和元年10月1日までに、経営システムの見直し等や、万博・G20等の期間を限定した臨時的増員を除き、835人の削減を行った。

今後は、「市政改革プラン3.1」に基づき、「民でできることは民で」という考え方のもと、技能労務職員については、引き続き委託化、効率化を図り、削減を行っていく。

給与水準 (国との比較)



ラスパイレス指数の分析欄

平成27年度の本市人事委員会勧告のマイナス改定(行政職の改定率▲2.54%)の実施及び給与制度の総合的見直しによる改定(行政職の改定率▲0.89%)の実施以降、類似団体中最低水準で推移し、令和4年度に給料月額の減額措置が終了したことにより指数が上昇したものの、引き続き、類似団体中最低水準となっている。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和4年度

大阪府大阪市

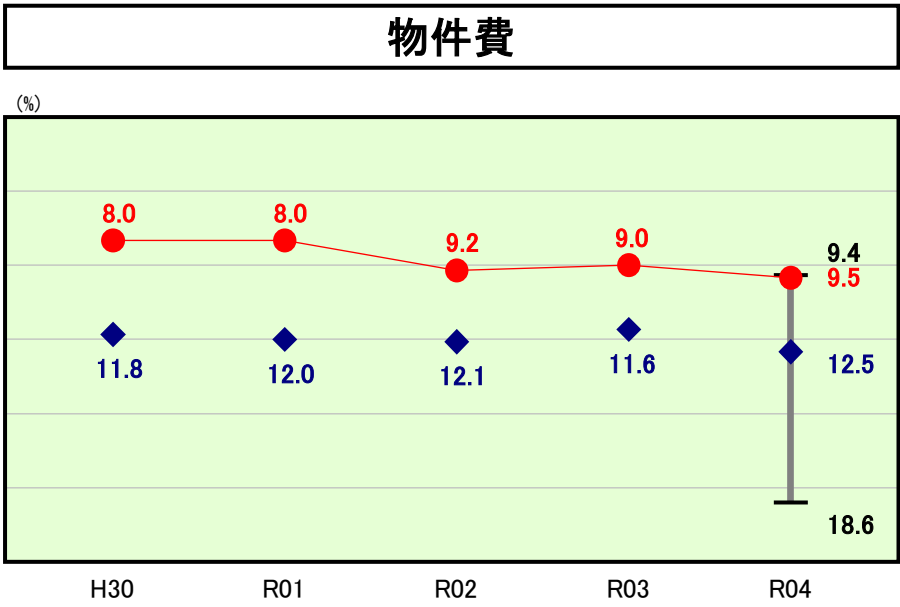
経常収支比率の分析

人口	2,741,587	人(R5.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	2,589,027	人(R5.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	225.33	km ²	実質公債費比率	1.3	%
歳入総額	1,938,280,969	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	1,906,782,922	千円			
実質収支	25,772,960	千円	市町村類型	H30 政令市 R01 政令市 R02 政令市	
標準財政規模	872,042,473	千円	(年度毎)	R03 政令市 R04 政令市	
地方債現在高	1,628,134,338	千円			

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

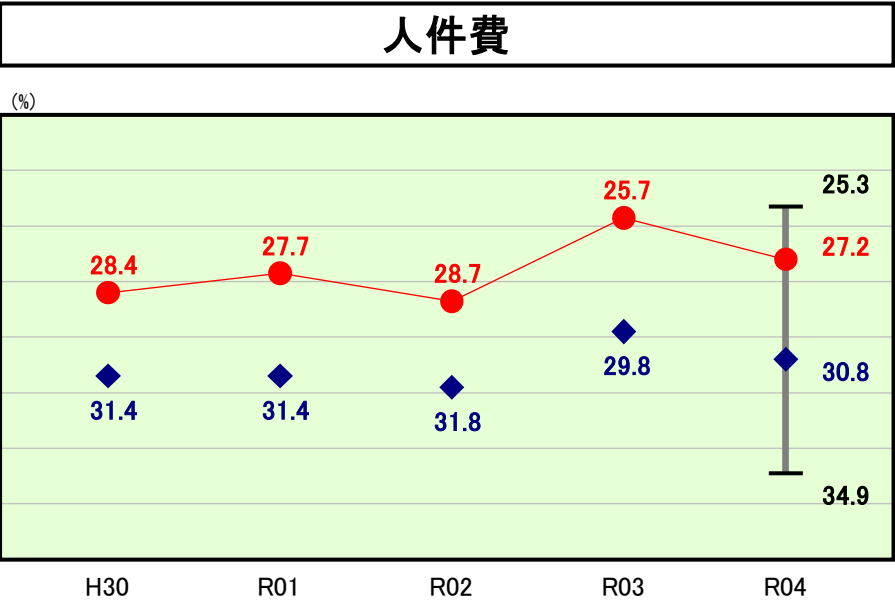


類似団体内順位 2/20 全国平均 14.9 大阪府平均 13.1

物件費の分析欄

昨年度と比較して概ね横ばい(+0.5ポイント)となっている。

この間の市政改革の取組で、施策・事業の見直しに取り組んできており、一定の成果をあげたことから、類似団体内平均を大きく下回っている。

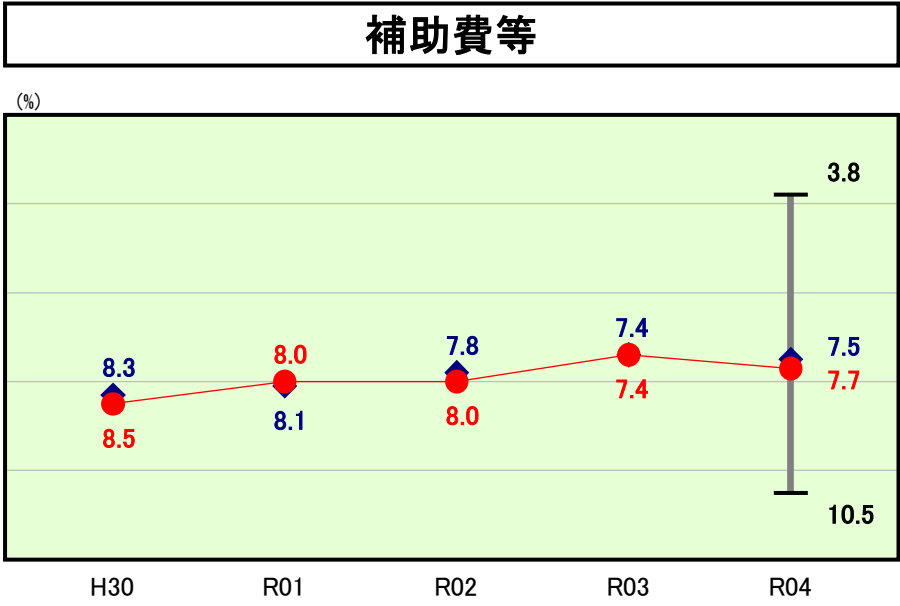


類似団体内順位 3/20 全国平均 25.9 大阪府平均 26.2

人件費の分析欄

昨年度と比較して1.5ポイント悪化している。

なお、「定員管理の状況」と「給与水準(国との比較)」にもあるように、この間職員数の削減に取り組んできたことや、人事委員会勧告による給与改定の反映、給与制度の総合的な見直しに取り組んできたことなどにより、人件費にかかる経常収支比率は類似団体内平均を大きく下回っている。

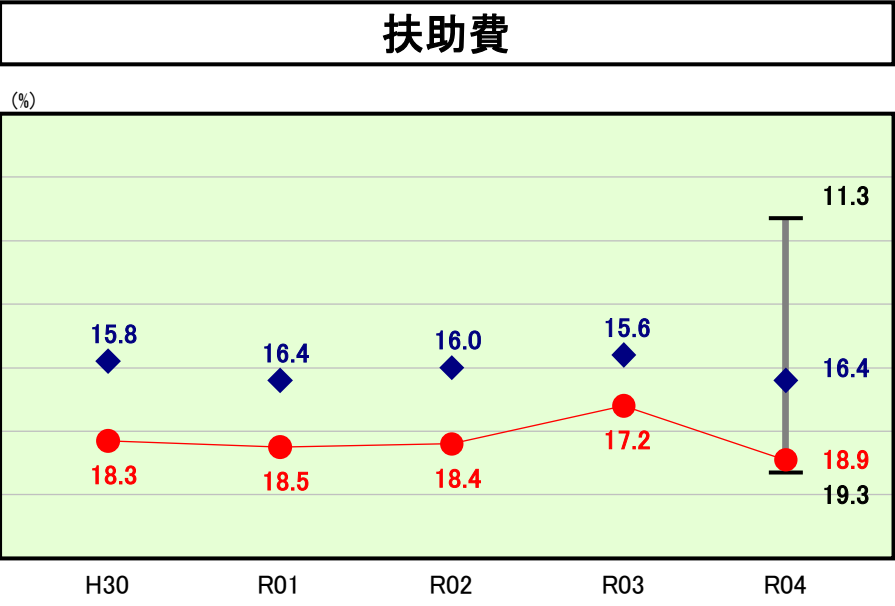


類似団体内順位 15/20 全国平均 10.5 大阪府平均 9.5

補助費等の分析欄

昨年度と比較して概ね横ばい(+0.3ポイント)となっている。

平成18年度に策定した「補助金等のあり方に関するガイドライン」に基づき、引き続き不断の見直しによる補助金の適正化を進めるなど更なる削減に努めている。

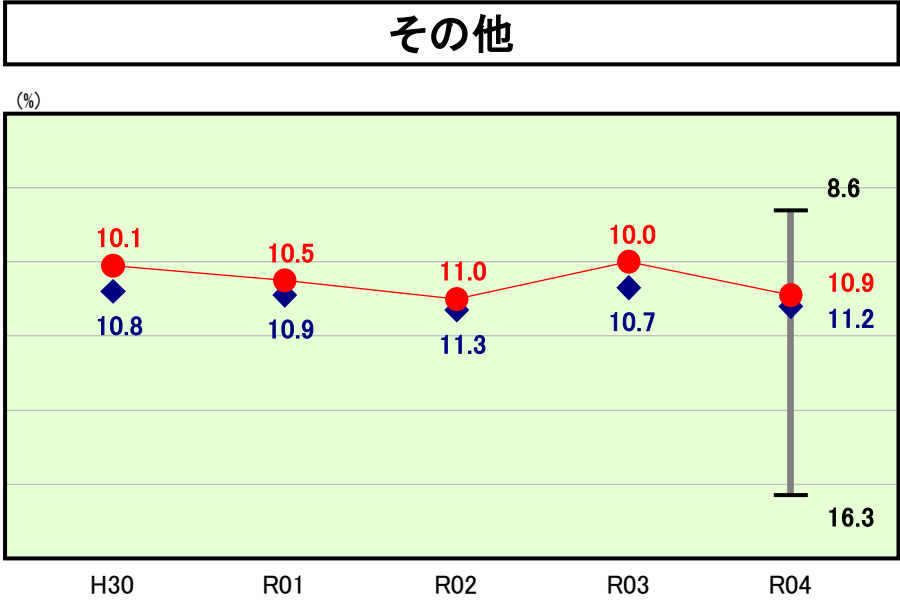


類似団体内順位 19/20 全国平均 12.5 大阪府平均 17.3

扶助費の分析欄

生活保護費が11年連続の減となったものの、障がい者自立支援給付費が増となったことなどにより、昨年度と比較して1.7ポイント悪化している。

引き続き、生活保護の適正実施などに取り組んでいるものの、依然として類似団体内平均より高い傾向が続いている。

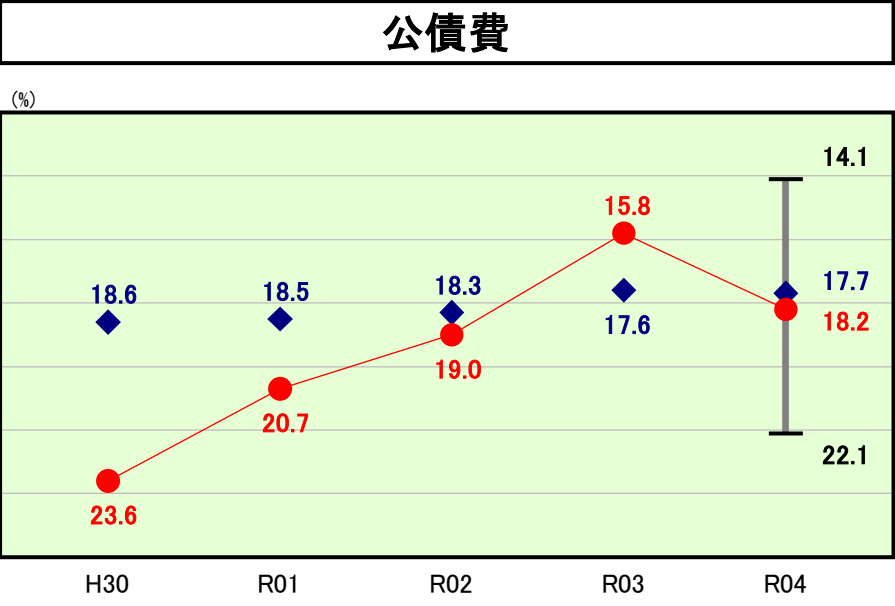


類似団体内順位 7/20 全国平均 12.4 大阪府平均 12.9

その他の分析欄

昨年度と比較して0.9ポイント悪化している。

高齢化の進展に伴い、介護保険事業会計及び後期高齢者医療事業会計への繰出金が増加傾向にあるものの、この間効果的・効率的な行財政運営をめざして、市政改革を進めてきた結果、類似団体内平均を下回る傾向が続いている。

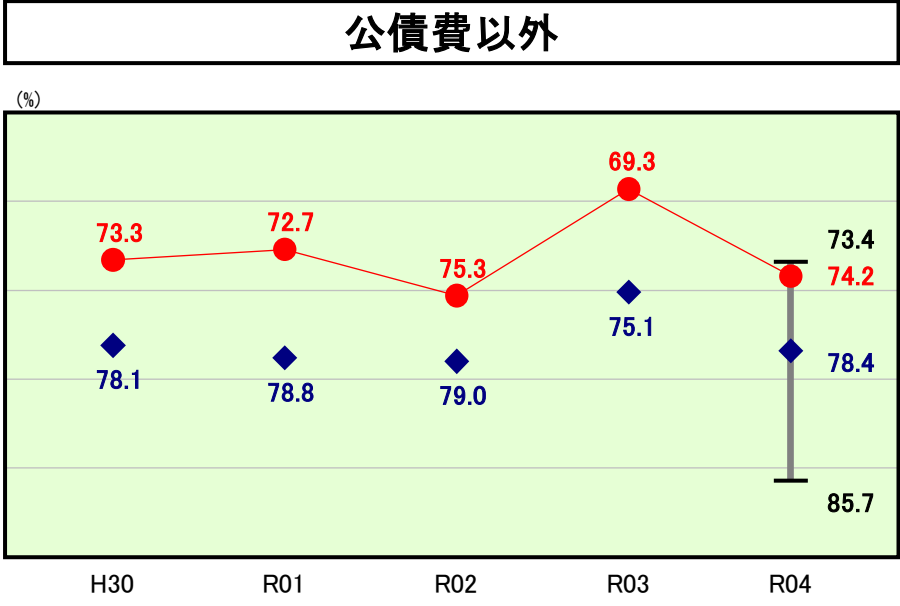


類似団体内順位 14/20 全国平均 16.0 大阪府平均 15.4

公債費の分析欄

令和4年度に今後の公債費負担の軽減のため、収支改善額を活用し、前倒し償還等を行った結果、昨年度と比較して2.4ポイント悪化したのが、類似団体内平均と概ね同水準となっている。

なお、地方債残高は17年連続して減少している。



類似団体内順位 3/20 全国平均 76.2 大阪府平均 79.0

公債費以外の分析欄

昨年度と比較して4.9ポイント悪化している。

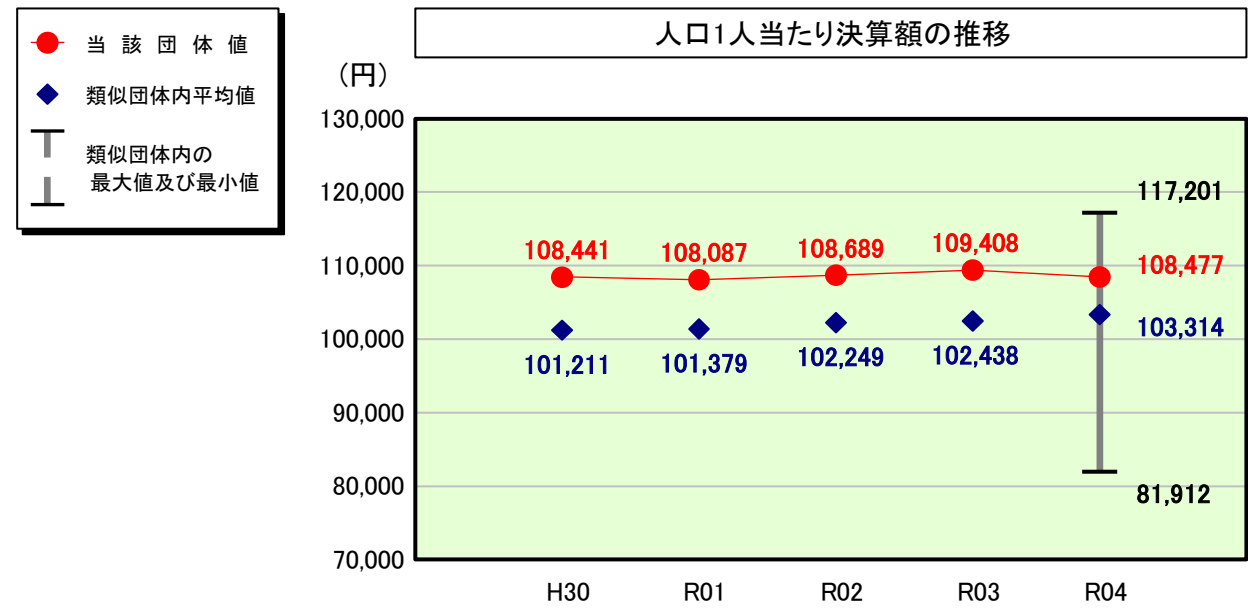
物件費にかかる経常収支比率が類似団体内平均との比較で低い水準にあることなどから、令和4年度決算において、類似団体内平均を大きく下回っている。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和4年度

大阪府大阪市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

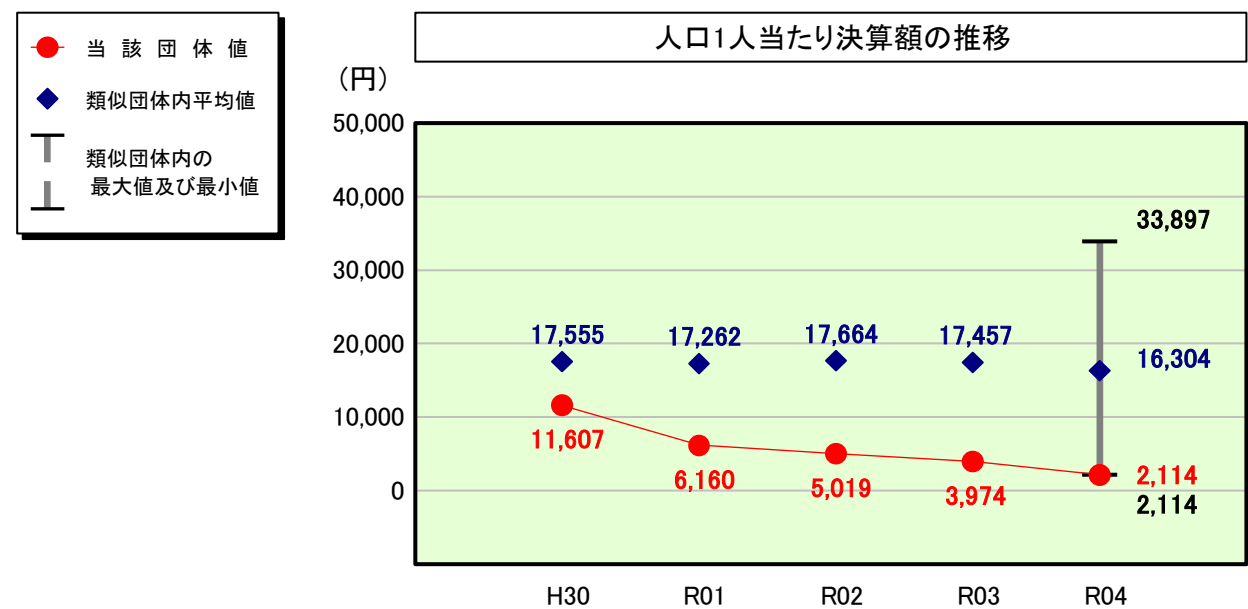
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	305,257,702	111,343	106,216	4.8
一部事務組合負担金(補助費等)	1,577,356	575	93	518.3
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	623,289	227	1,081	▲79.0
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	5	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	5,535,646	2,019	1,912	5.6
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	3,984,046	1,453	1,291	12.5
▲退職金	▲19,579,862	▲7,142	▲7,284	▲1.9
合計	297,398,177	108,477	103,314	5.0

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	12.14	11.33	0.81
ラスパイレス指数	97.1	99.7	▲2.6

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

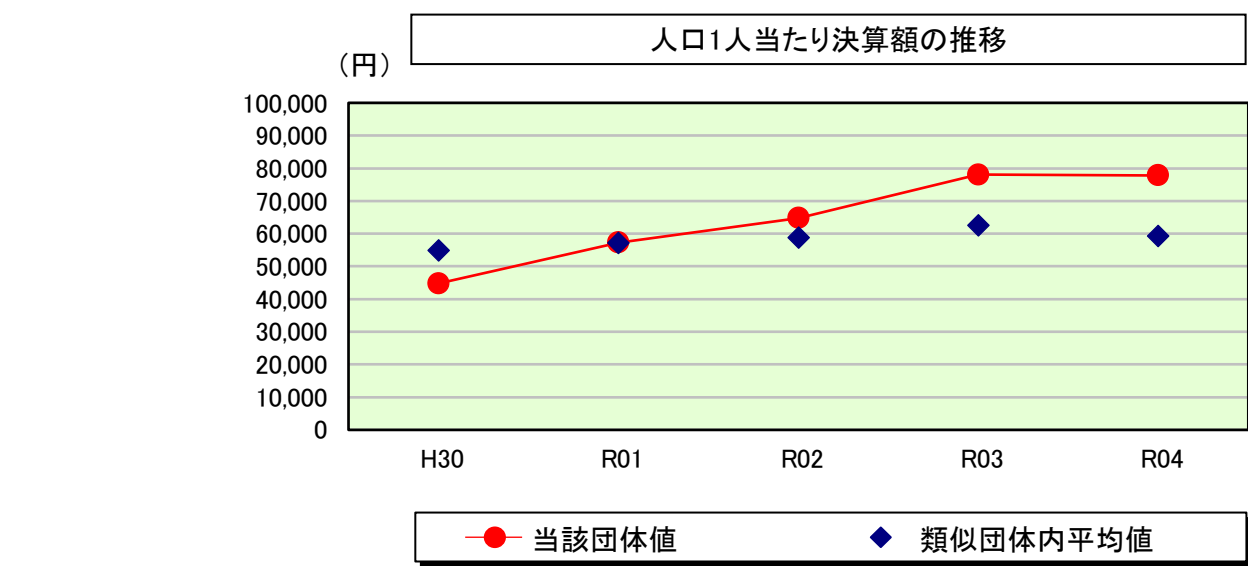


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	85,586,318	31,218	30,951	0.9
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	1,792	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	68,475,675	24,977	21,367	16.9
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	18,811,247	6,861	9,606	▲28.6
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	359,005	131	129	1.6
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	11,285,787	4,117	1,458	182.4
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	0	-
▲特定財源の額	▲81,092,104	▲29,579	▲17,360	70.4
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲97,630,004	▲35,611	▲31,639	12.6
合計	5,795,924	2,114	16,304	▲87.0

※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

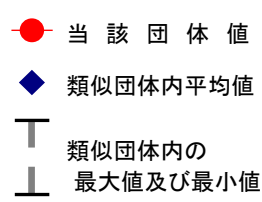
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H30	121,547,422	44,777	4.5	54,945	3.9	0.6
うち単独分	51,672,771	19,036	23.5	29,293	8.4	15.1
R01	156,343,461	57,260	27.9	57,132	4.0	23.9
うち単独分	65,289,022	23,912	25.6	30,126	2.8	22.8
R02	177,486,388	64,777	13.1	58,766	2.9	10.2
うち単独分	75,309,158	27,485	14.9	29,363	▲2.5	17.4
R03	213,337,472	78,083	20.5	62,482	6.3	14.2
うち単独分	92,886,795	33,997	23.7	34,626	17.9	5.8
R04	213,480,560	77,868	▲0.3	59,288	▲5.1	4.8
うち単独分	96,435,005	35,175	3.5	32,670	▲5.6	9.1
過去5年間平均	176,439,061	64,553	13.1	58,523	2.4	10.7
うち単独分	76,318,550	27,921	18.2	31,216	4.2	14.0

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和4年度

大阪府大阪市

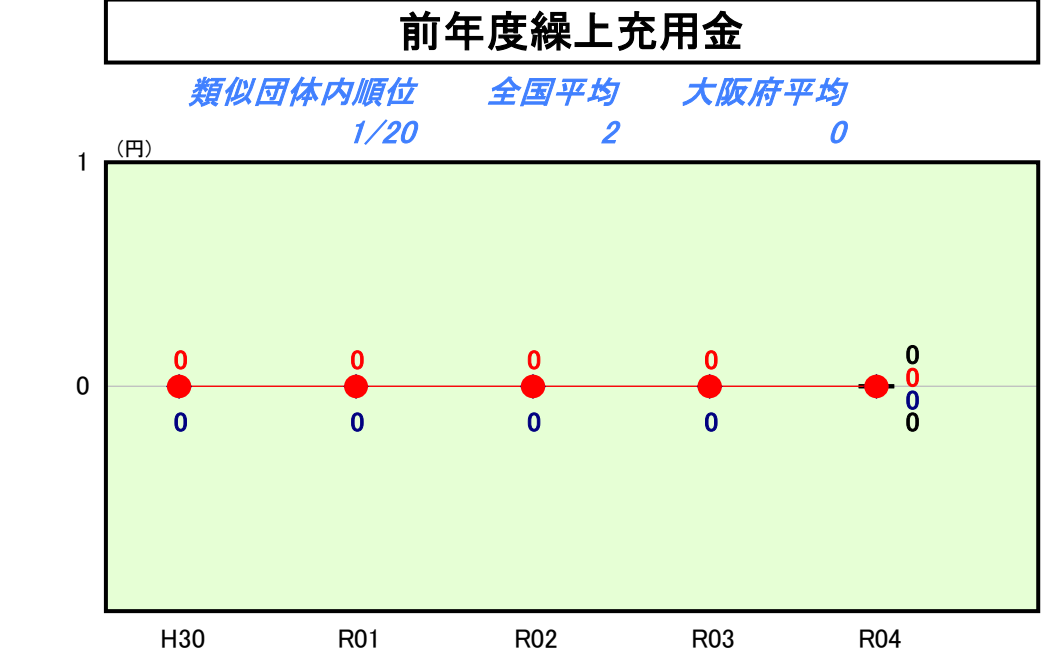
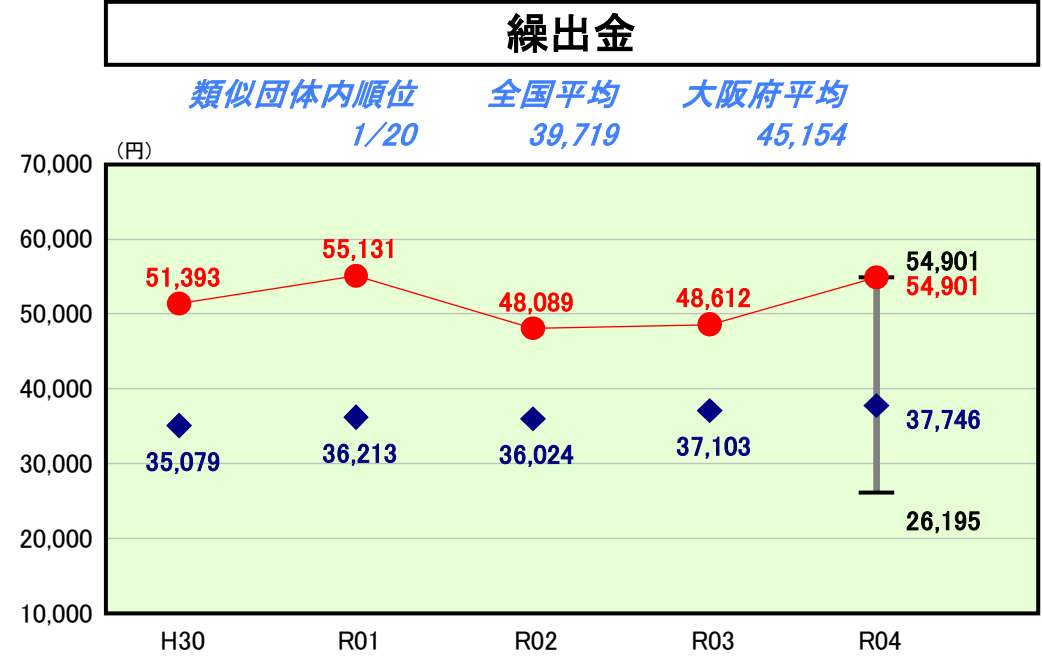
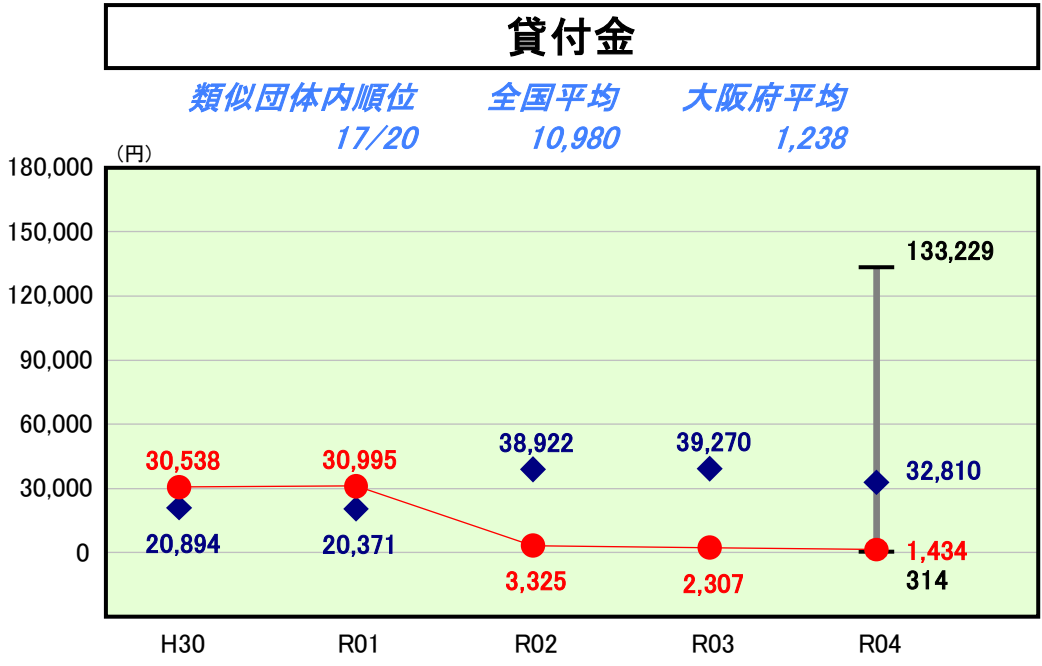
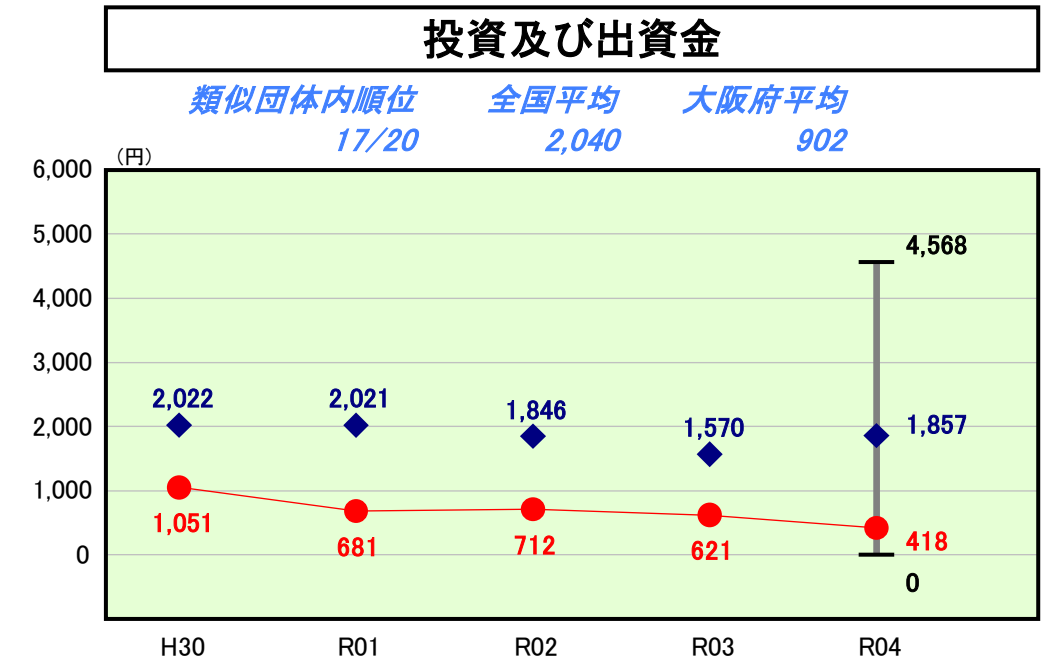
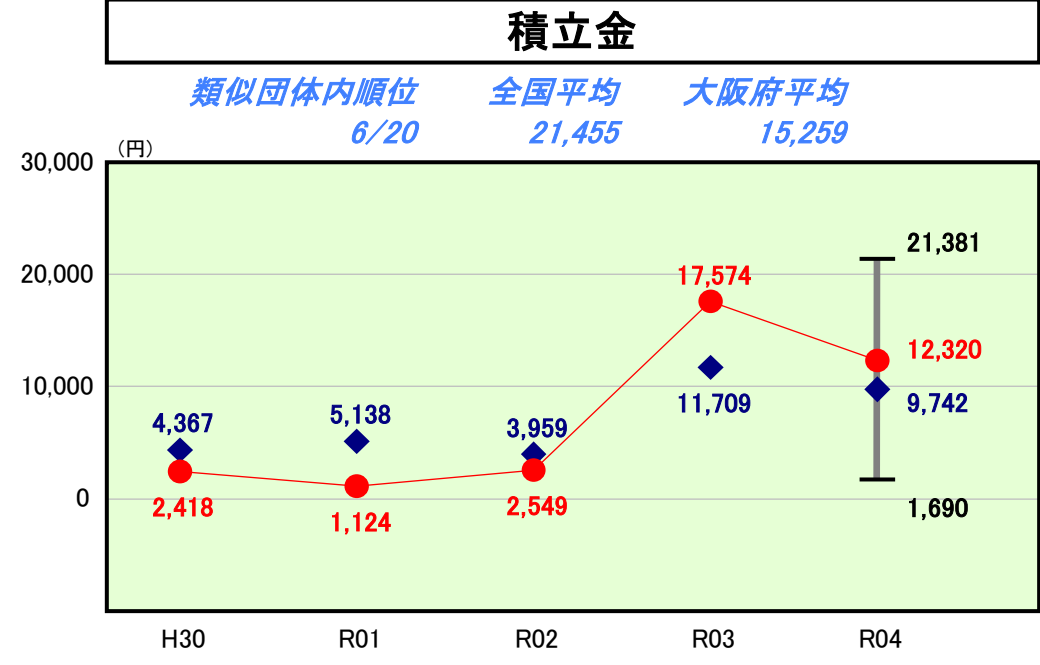
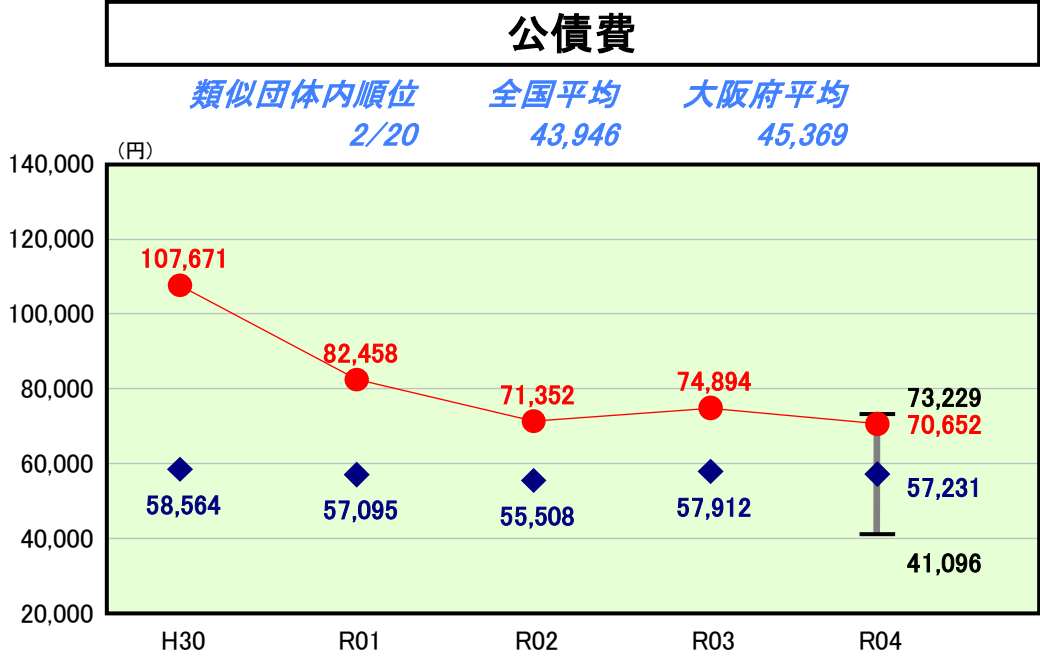
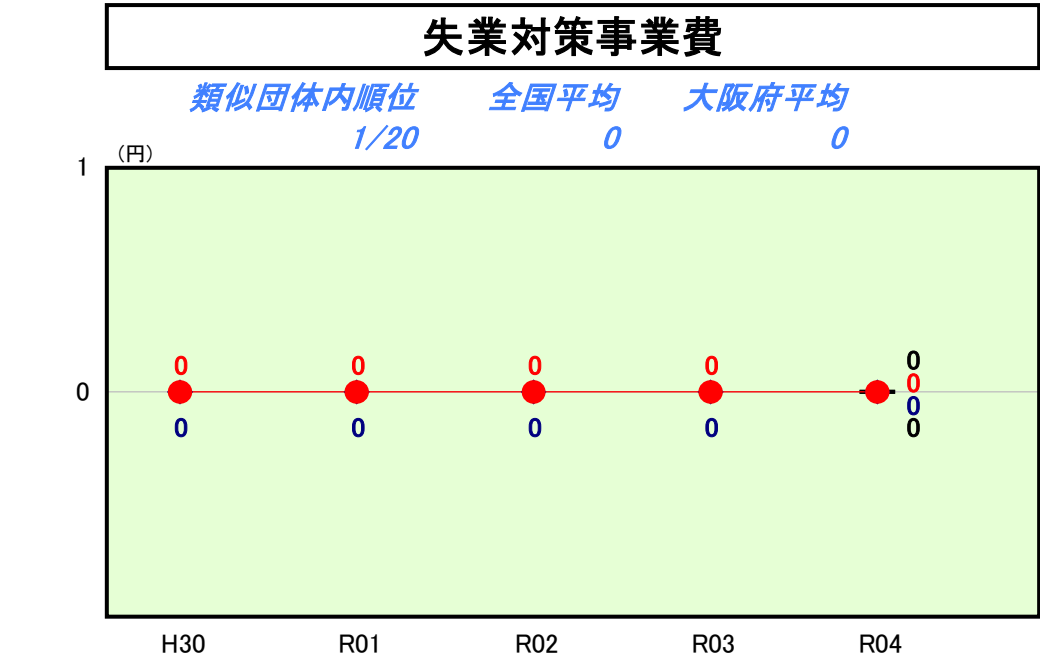
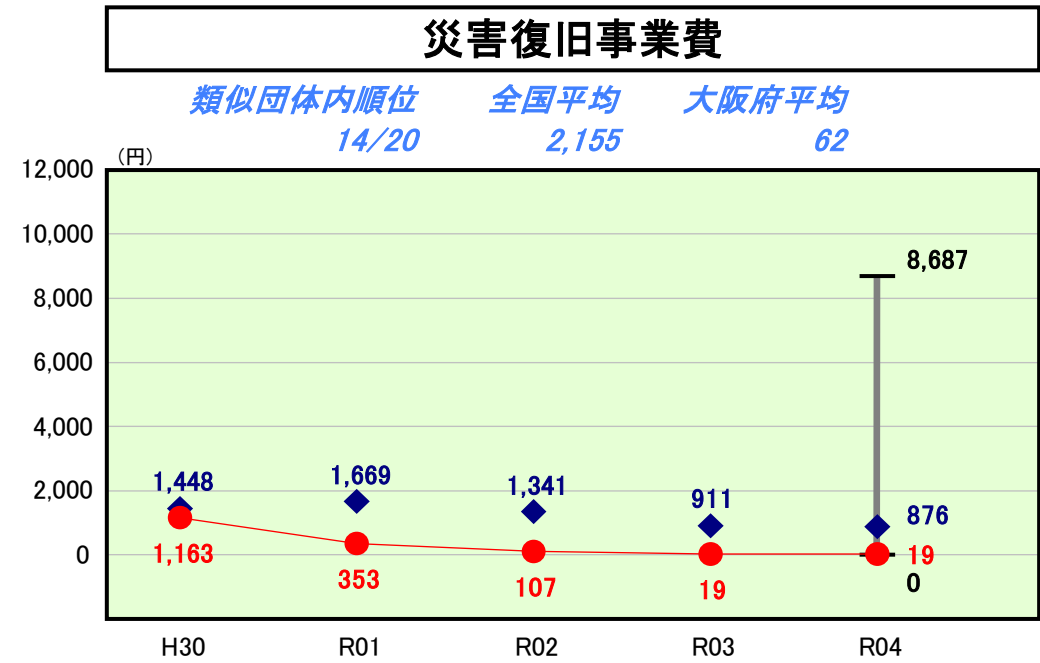
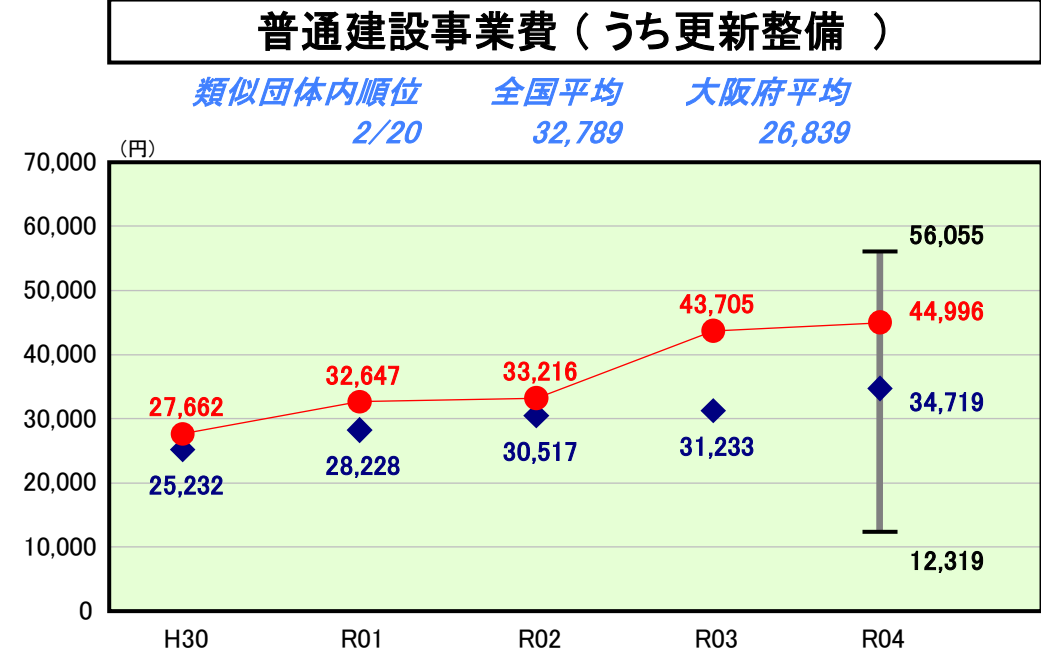
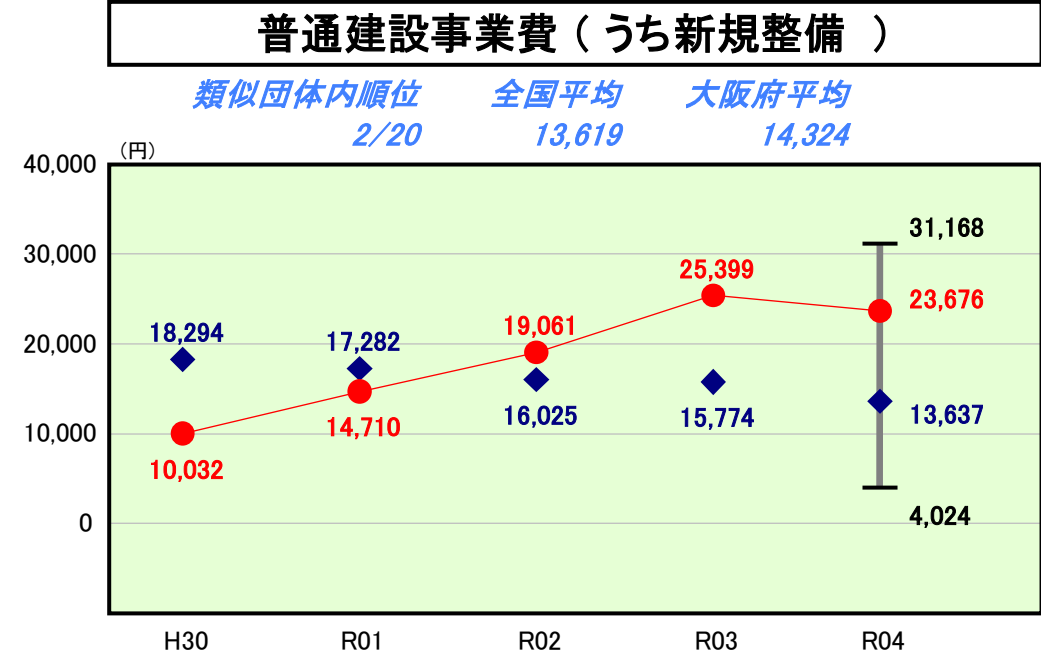
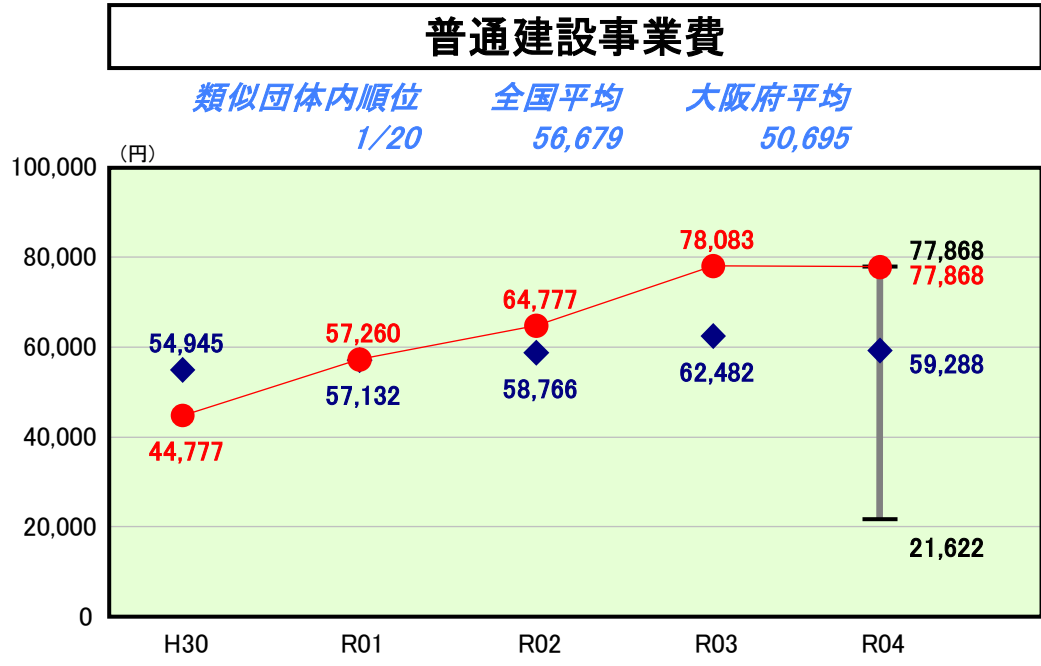
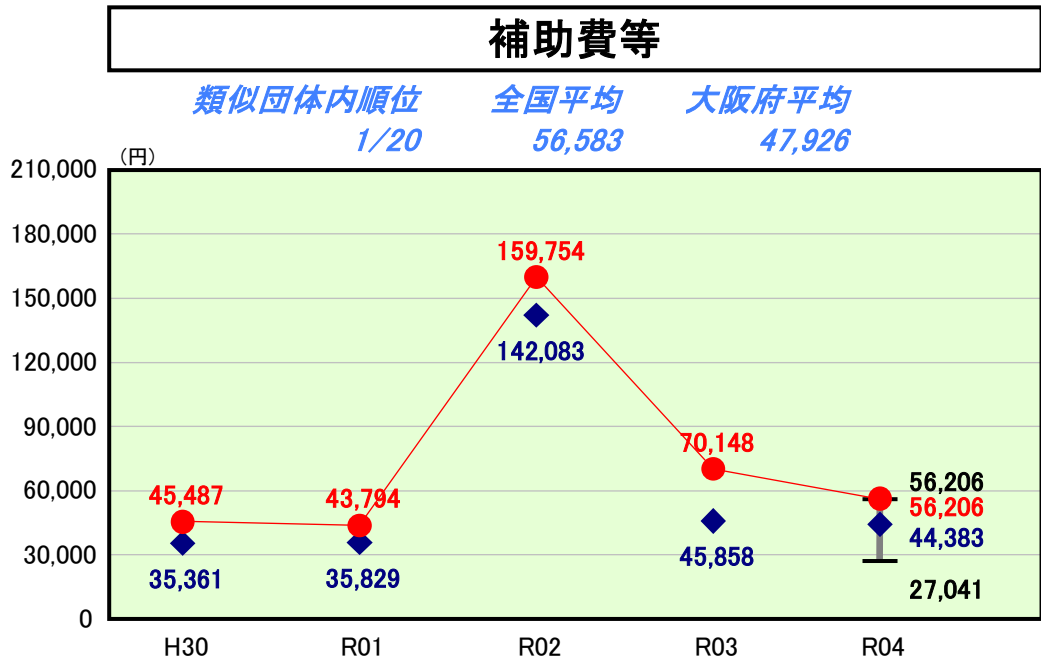
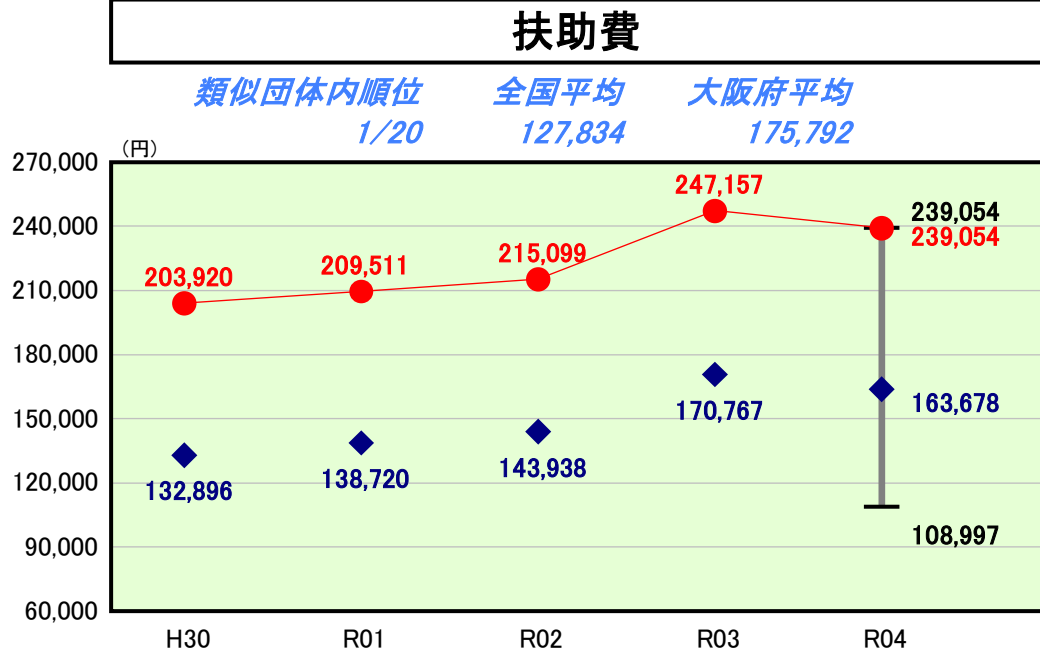
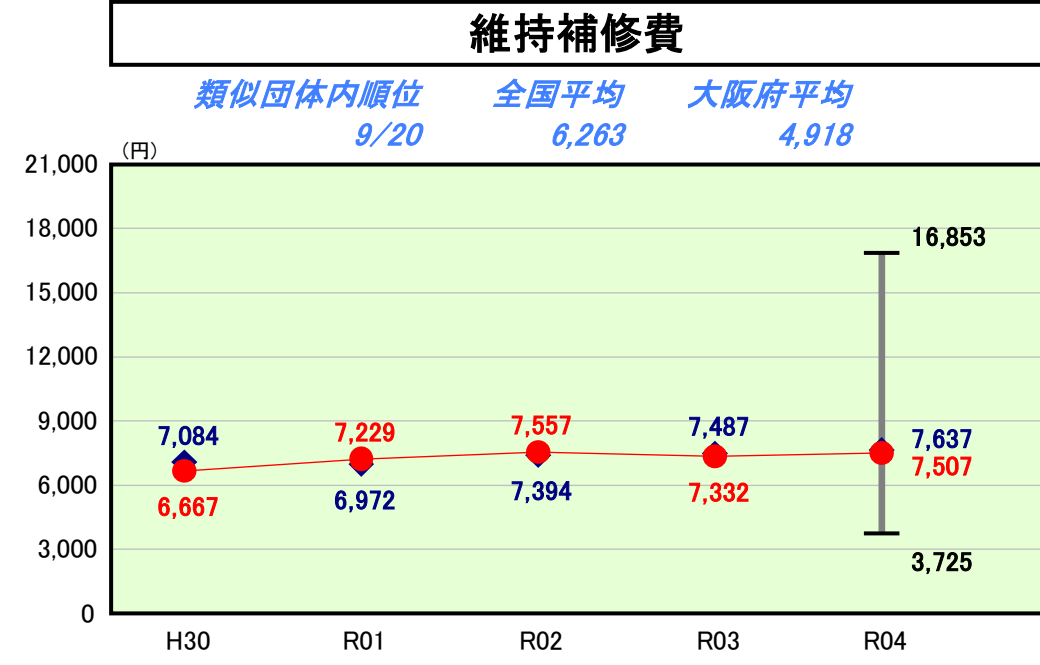
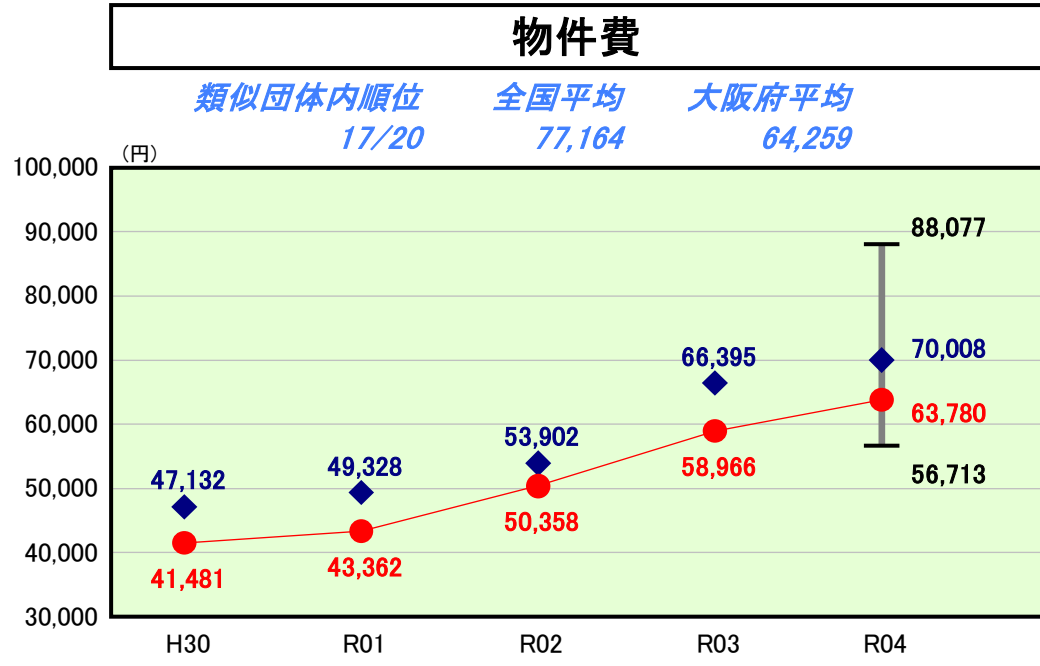
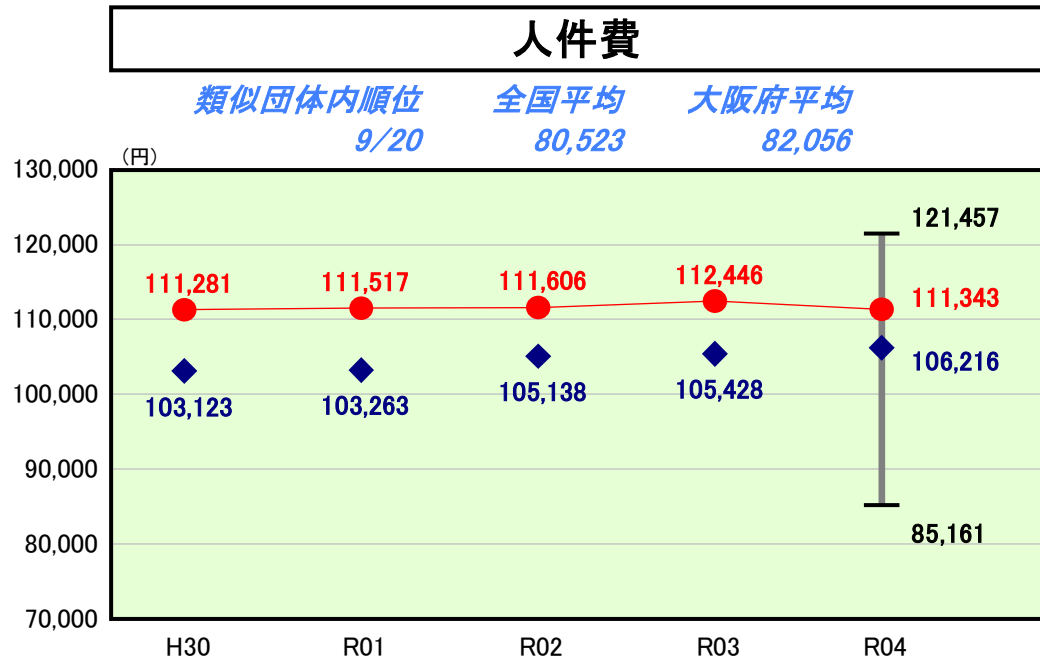
人	口	2,741,587人(R5.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%
面	積	225.33km ²	連	結	実	質	赤	字	比	率
歳	入	総額1,938,280,969千円	実	質	公	債	費	比	率	1.3%
歳	出	総額1,906,782,922千円	将	来	負	担	比	率	-	%
実	質	収支25,772,960千円	市	町	村	類	型		H30	政令市
標	準	財	政	規	模				R01	政令市
地	方	債	現	在	高				R02	政令市
									R03	政令市
									R04	政令市



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析欄

本市における主な構成費目は、人件費・扶助費・公債費であり、中でも扶助費及び公債費は、類似団体と比較して住民一人当たりコストが高い状況となっている。

扶助費については、障がい者自立支援給付費が増となったものの、新型コロナウイルス感染症対策として実施した子育て世帯臨時特別給付金の減などにより減少している。

また、公債費については、元金償還額が減となったことなどにより減少している。

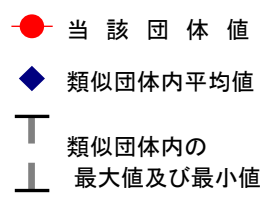
そのほか、普通建設事業費は、新大学キャンパス整備事業の増や校舎建設費の増などにより増加しているものの、大阪中之島美術館の整備事業の減などにより減少しており、補助費等は、新型コロナウイルス感染症対策として実施した飲食店等に対する営業時間短縮等協力金の減などにより減少している。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和4年度

大阪府大阪市

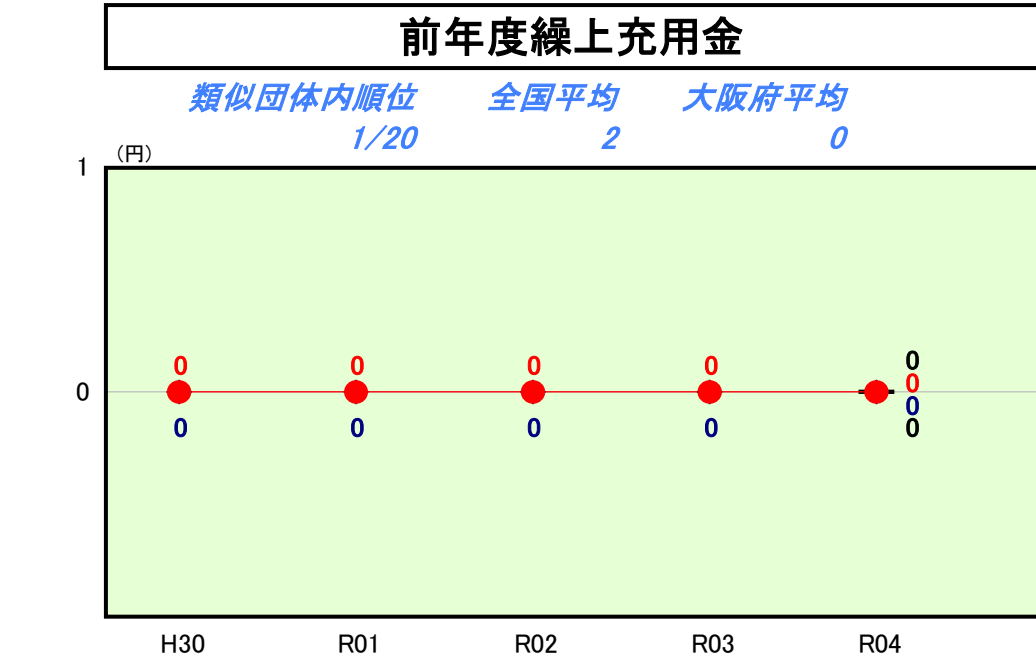
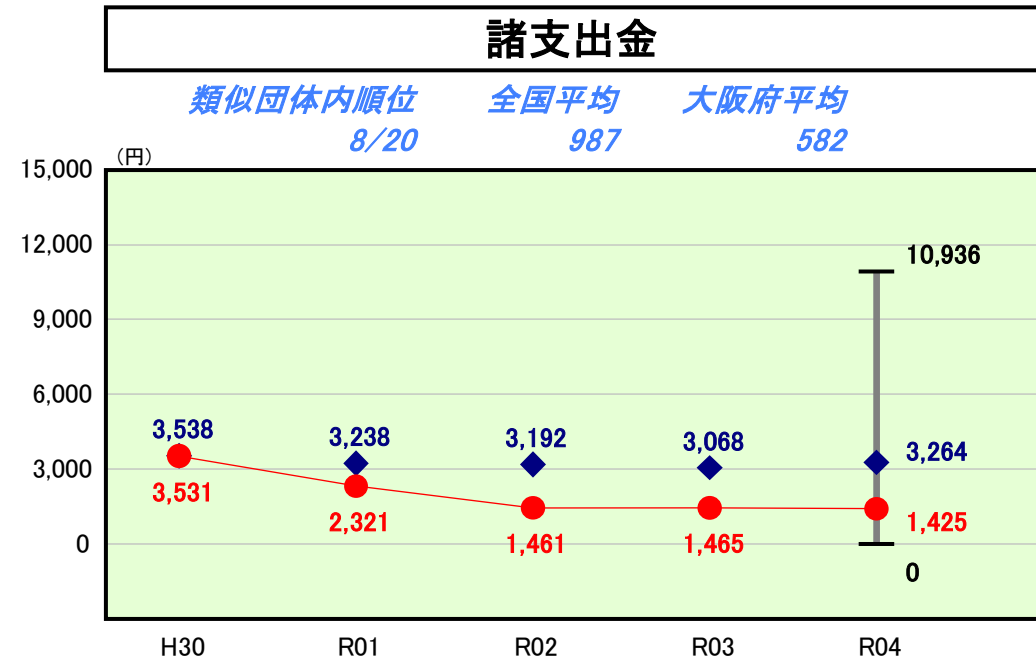
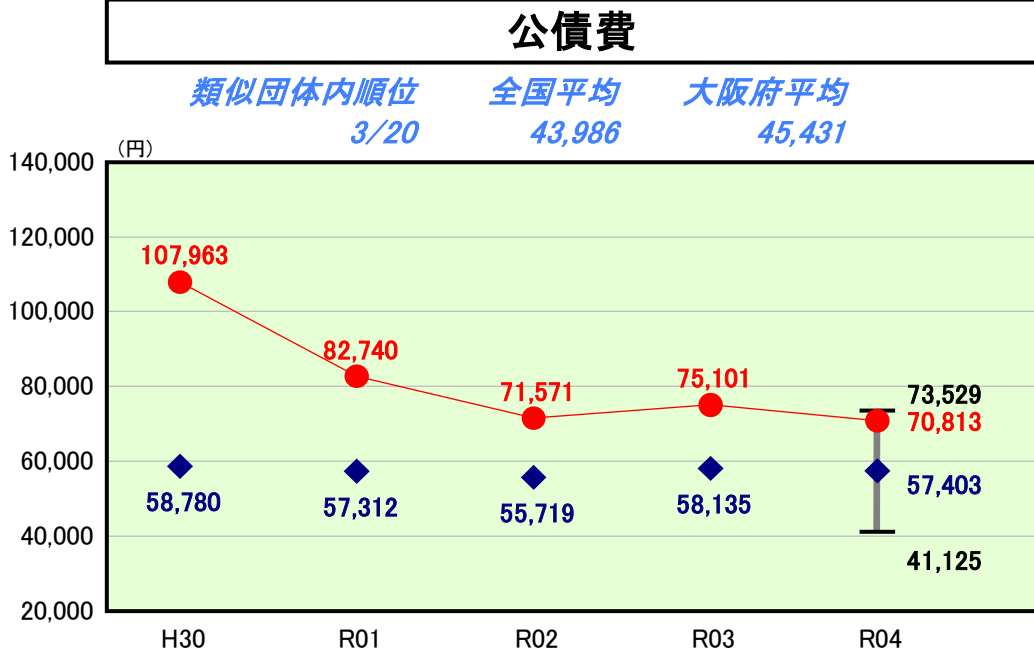
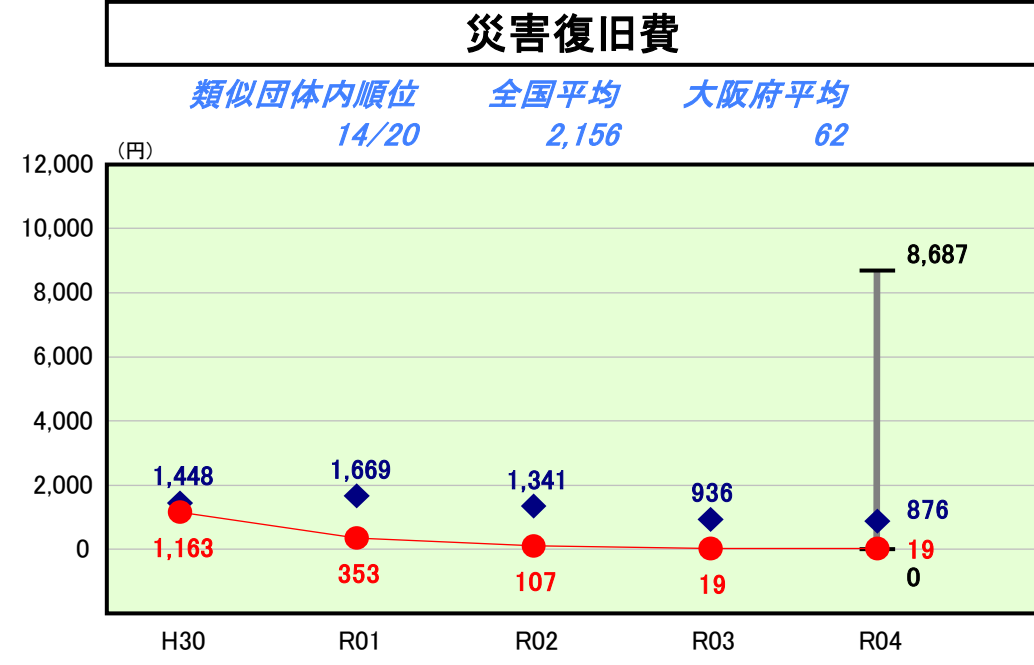
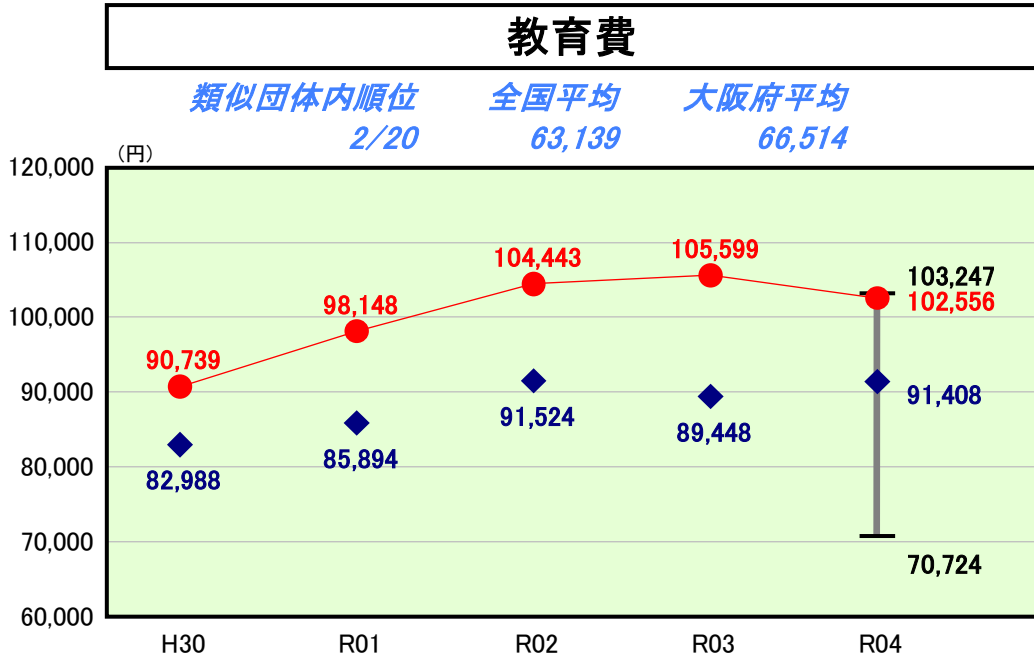
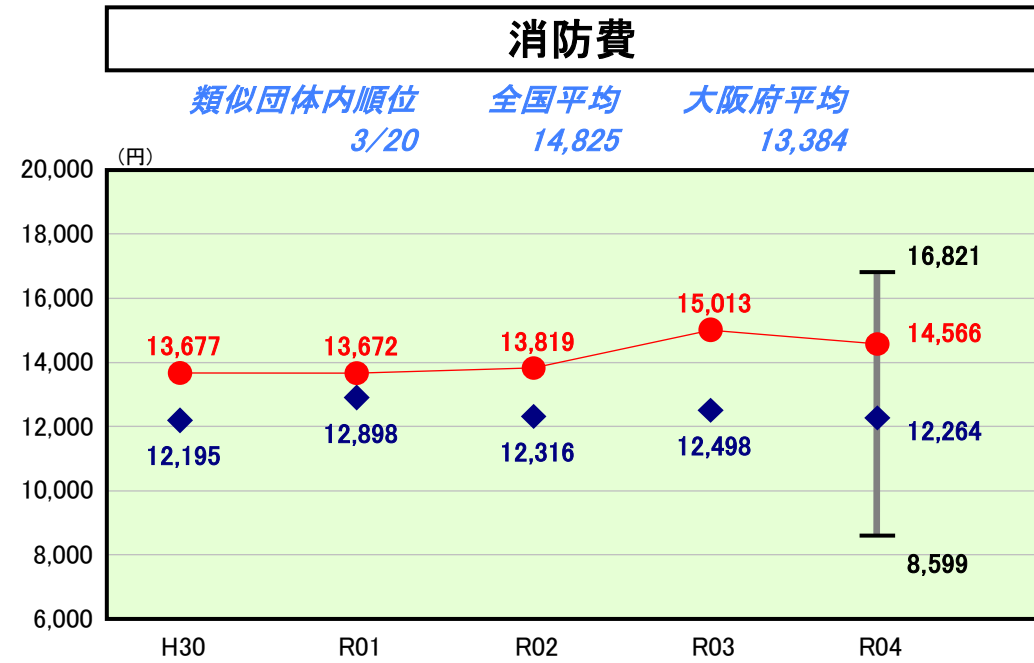
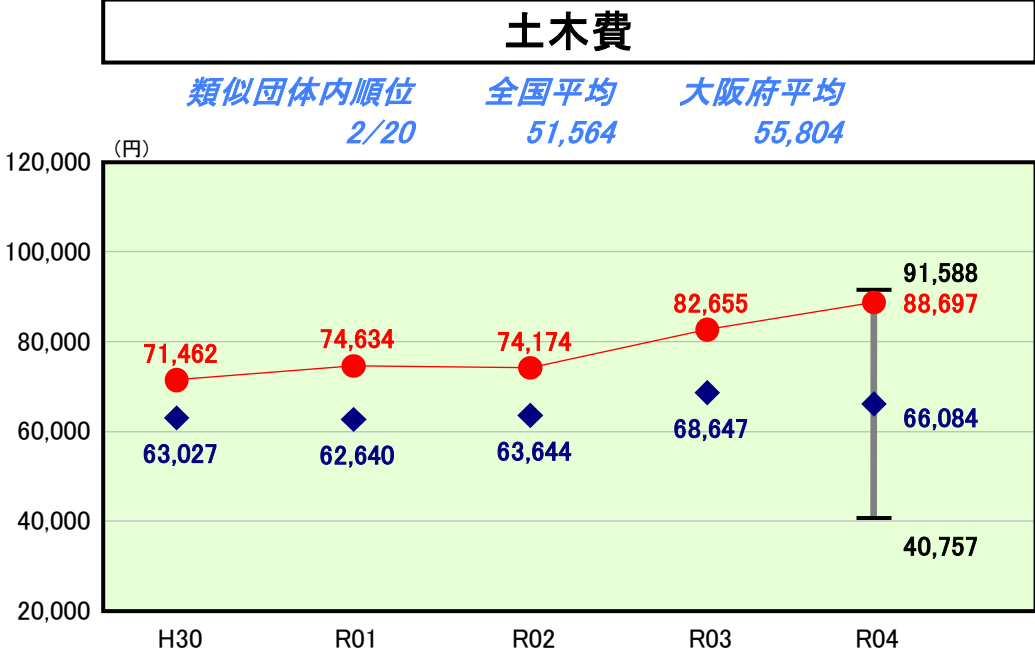
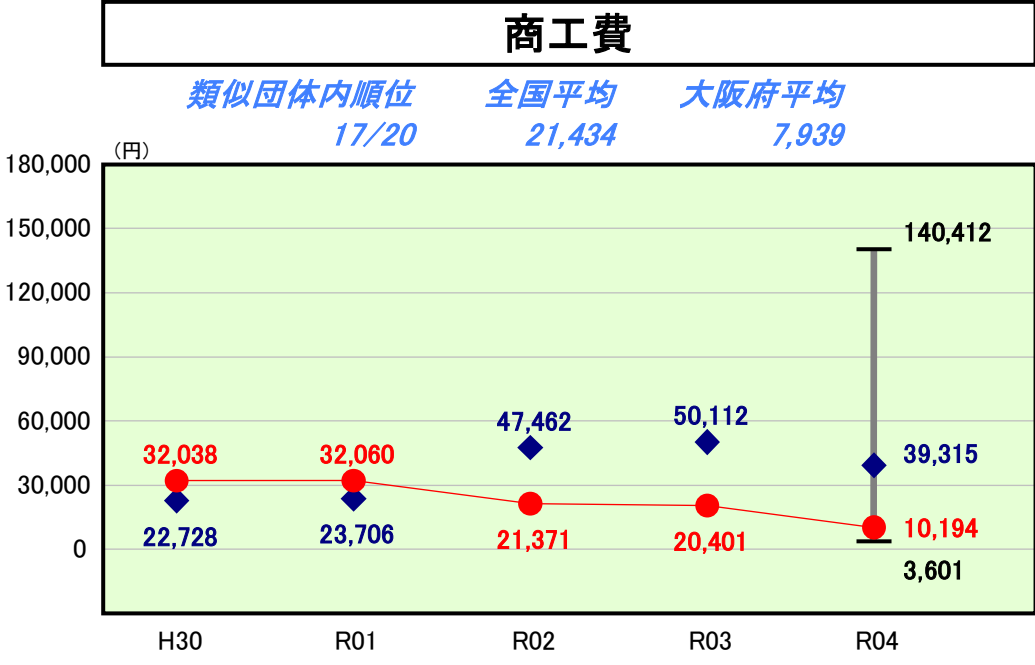
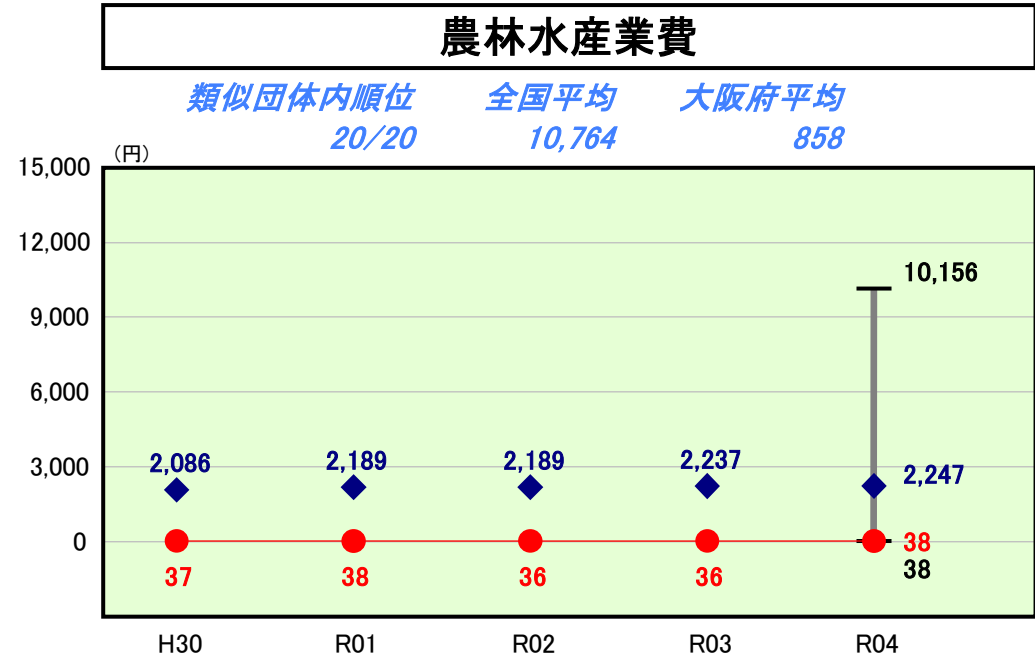
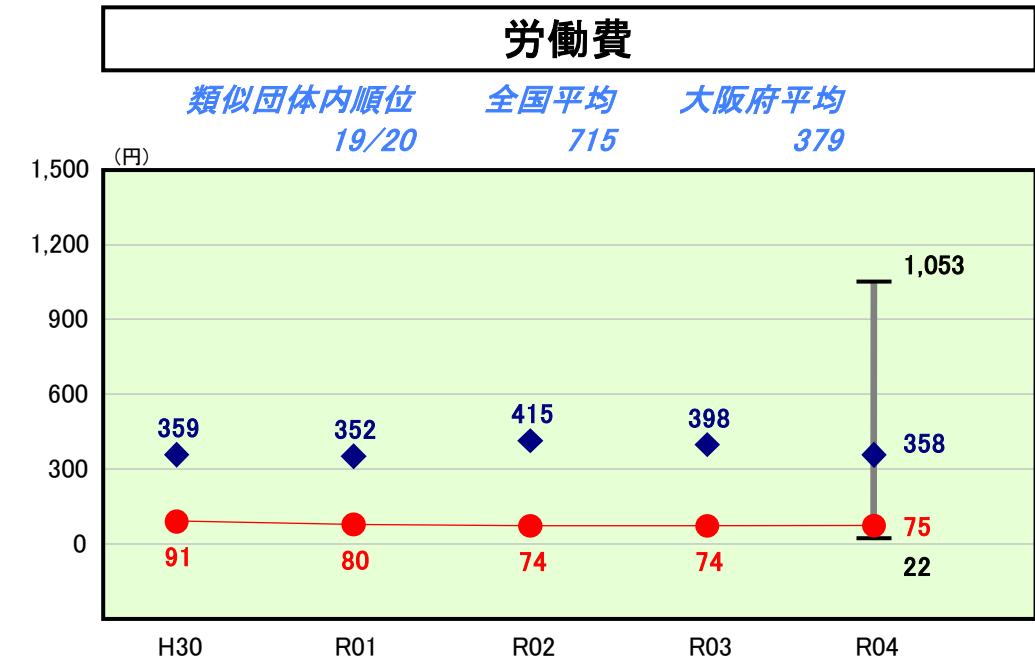
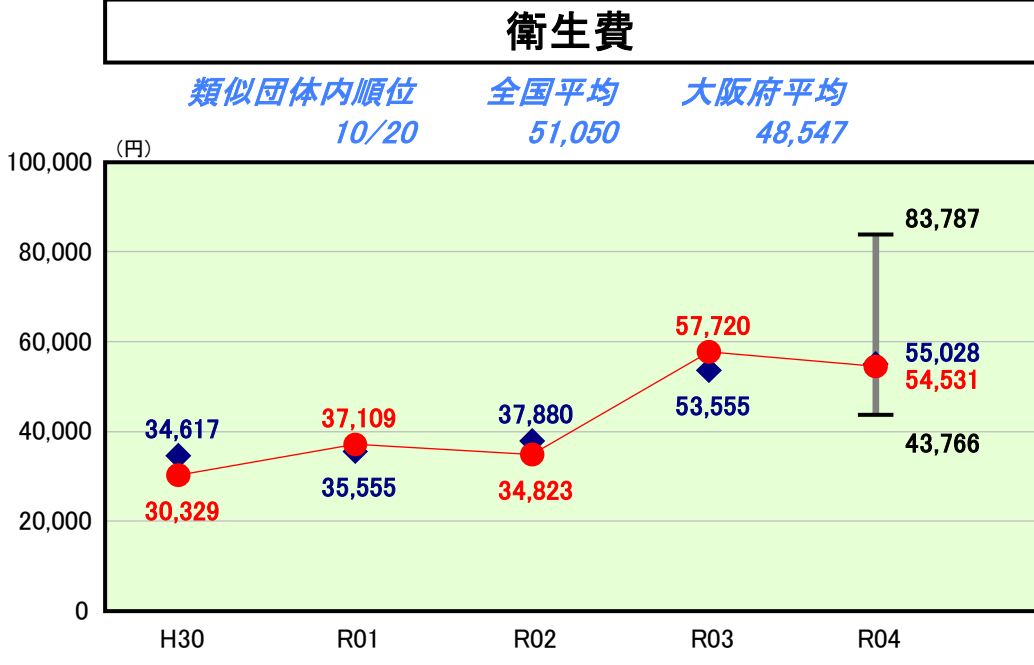
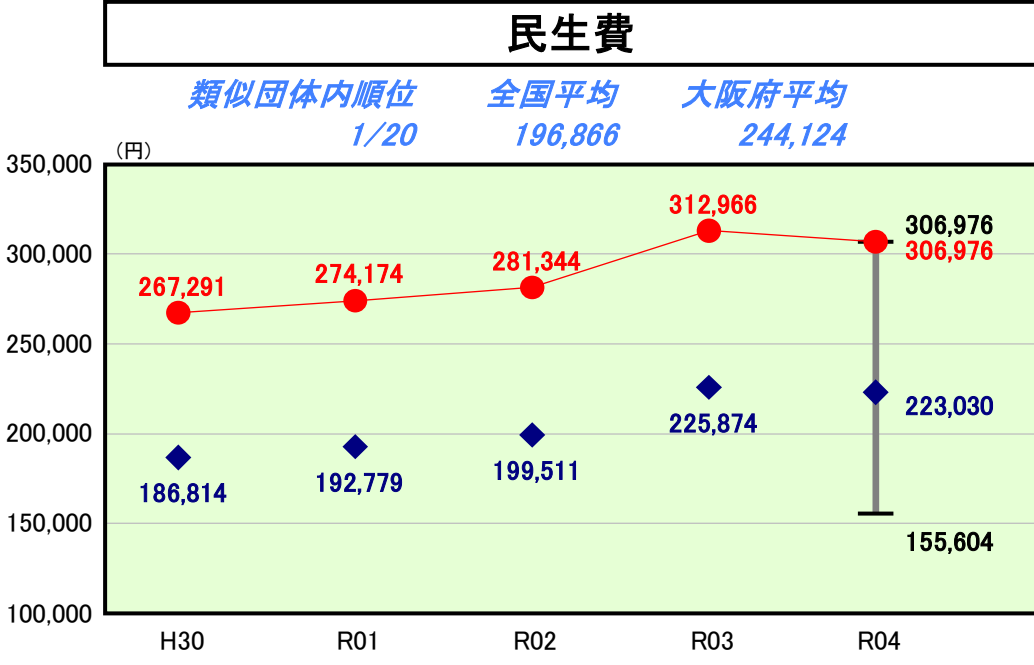
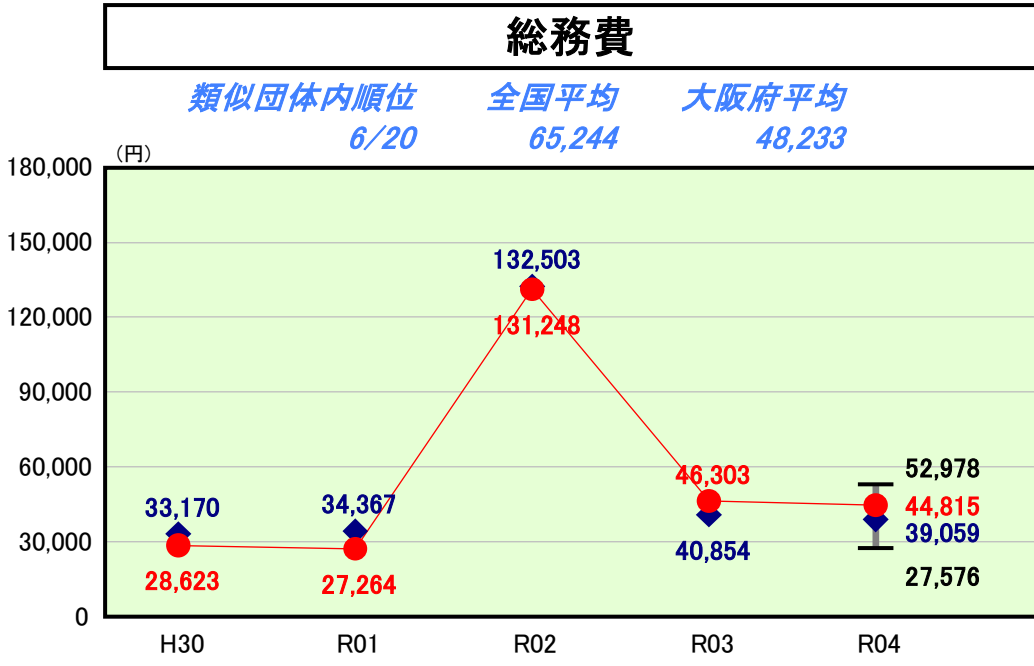
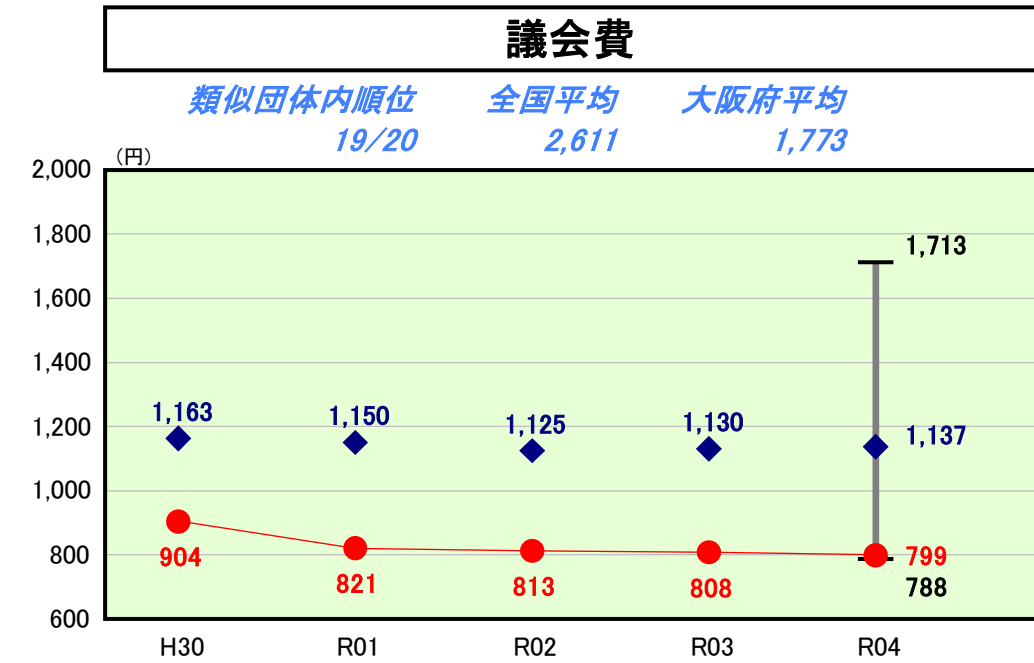
人	口	2,741,587	人(R5.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%						
う	ち	日	本	2,589,027	人(R5.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率	-	%		
面			積	225.33	km ²	実	質	公	債	費	比	率	1.3	%			
歳	入	総	額	1,938,280,969	千円	将	来	負	担	比	率	-	%				
歳	出	総	額	1,906,782,922	千円	市	町	村	類	型			H30	政令市	R01	政令市	R02 政令市
実	質	収	支	25,772,960	千円	(	年	度	毎	)			R03	政令市	R04	政令市	
標	準	財	政	規	模	872,042,473	千円										
地	方	債	現	在	高	1,628,134,338	千円										



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析欄

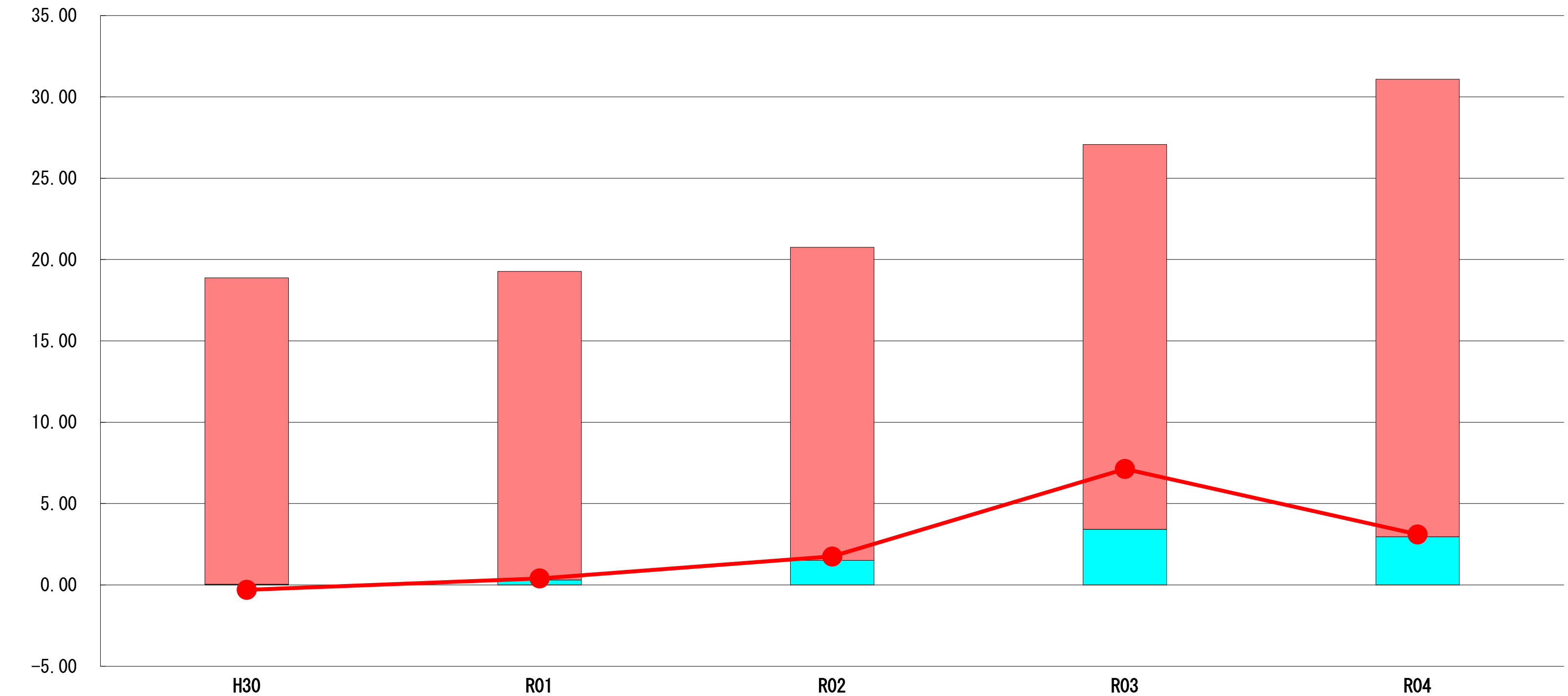
民生費、教育費及び公債費において、類似団体と比較して住民一人当たりコストが高い状況となっている。
民生費については、障がい者自立支援給付費が増となったものの、新型コロナウイルス感染症対策として実施した子育て世帯臨時特別給付金の減などにより減少している。
教育費については、校舎建設費の増があるものの、大阪市立の高等学校等の大阪府への移管に伴う人件費の減などにより減少している。
公債費については、元金償還額が減となったことなどにより減少している。
そのほか、土木費については、阿倍野再開発事業に係る公債償還のための繰出金の増などにより増加している。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

令和4年度

大阪府大阪市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

区分	年度	H30	R01	R02	R03	R04
財政調整基金残高		18.83	18.97	19.24	23.65	28.12
実質収支額		0.05	0.31	1.51	3.42	2.96
実質単年度収支		▲ 0.30	0.40	1.75	7.13	3.11

分析欄

令和4年度決算について、新型コロナウイルス感染症対策関連経費等の減により、歳入において国庫支出金が、歳出において行政施策経費が大きく減となり、歳出・歳入の規模はともに減となった。歳入は、市税収入が過去最高となる一方、地方交付税・臨時財政対策債は減となっている。歳出は、障がい者自立支援給付費等の扶助費などが増となっている。

実質収支については258億円の剰余となり、標準財政規模に占める割合は0.4ポイント減となっている。

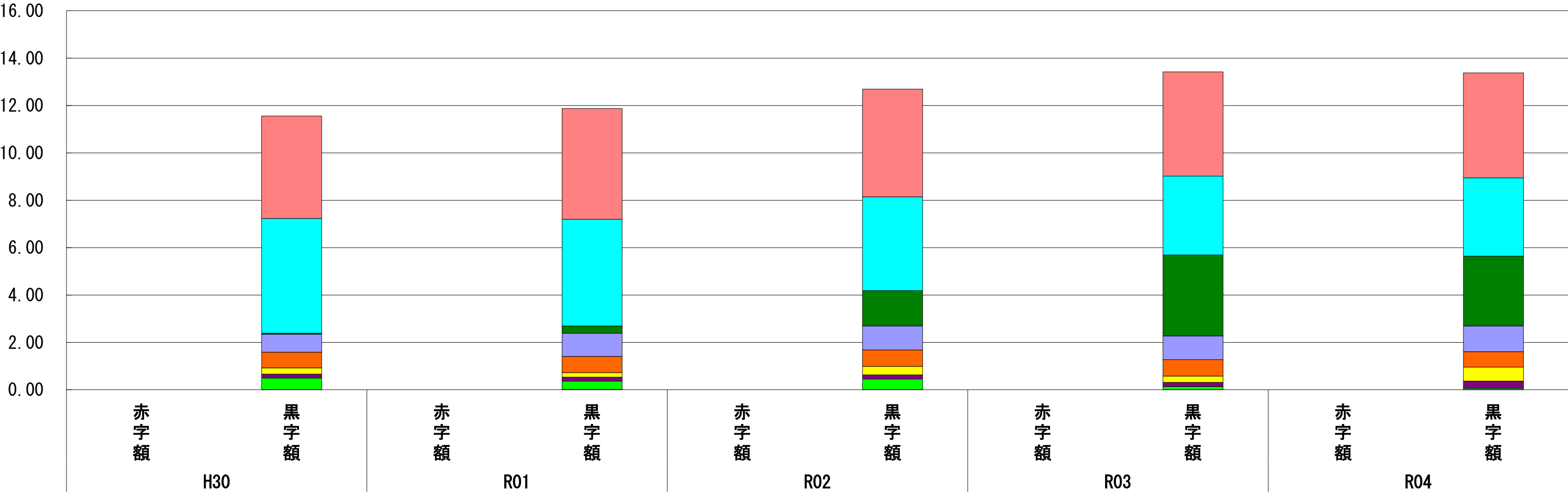
財政調整基金残高は、前年度決算剰余金の積立等に伴い増加し、標準財政規模に占める割合は28.12%となっている。また、収支改善に伴い財政調整基金の取崩しを中止等していることから、実質単年度収支も令和元年度以降、黒字である。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和4年度

大阪府大阪市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度		H30	R01	R02	R03	R04
会計	下水道事業会計	4.32	4.67	4.55	4.40	4.44
	水道事業会計	4.84	4.51	3.95	3.33	3.30
	一般会計	0.05	0.31	1.50	3.42	2.95
	中央卸売市場事業会計	0.76	0.97	1.01	1.00	1.08
	工業用水道事業会計	0.66	0.69	0.70	0.70	0.66
	国民健康保険事業会計	0.26	0.19	0.35	0.26	0.59
	後期高齢者医療事業会計	0.17	0.17	0.18	0.18	0.30
	介護保険事業会計	0.48	0.34	0.44	0.13	0.06
	その他会計（赤字）	-	-	-	-	-
	その他会計（黒字）	0.01	0.02	0.01	0.00	0.00

分析欄

令和4年度決算においても、全ての会計において黒字や資金剰余となったため、連結実質赤字比率はない。

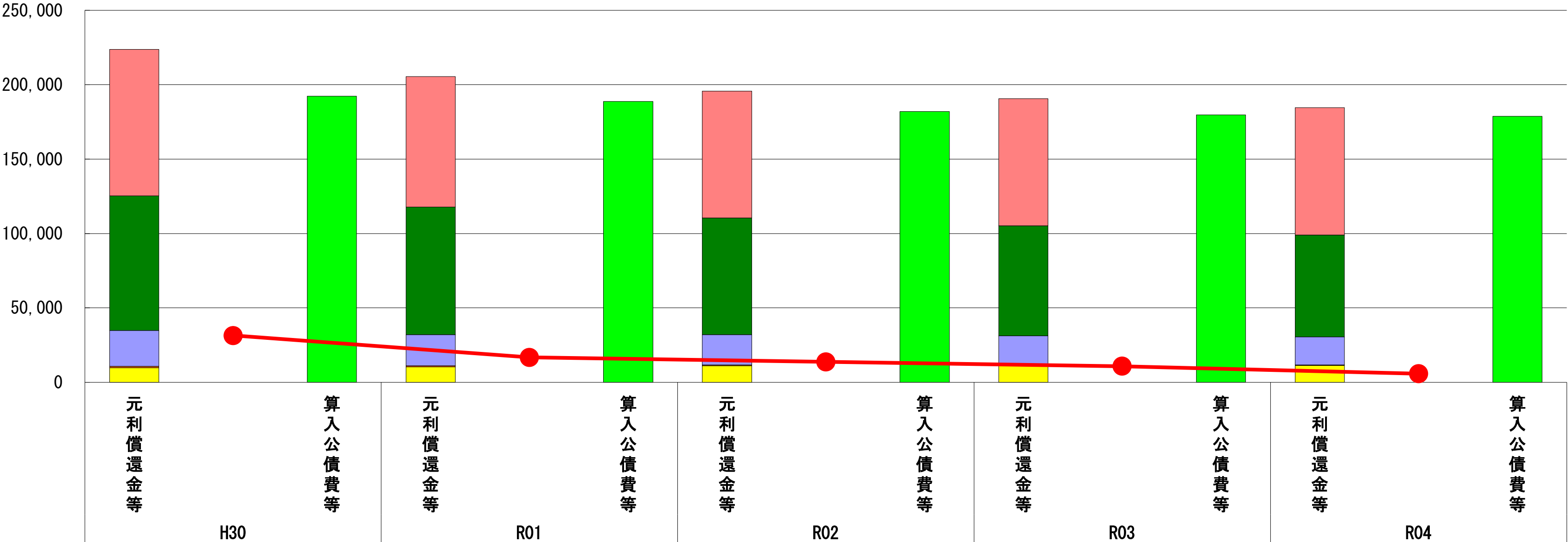
※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和4年度

大阪府大阪市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H30	R01	R02	R03	R04
元利償還金等 (A)	元利償還金		98,356	87,690	85,236	85,463	85,586
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		90,622	85,856	78,418	73,890	68,476
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		24,087	20,839	20,211	19,394	18,811
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		944	844	644	600	359
	債務負担行為に基づく支出額		9,777	10,345	11,126	11,259	11,286
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		192,279	188,754	181,883	179,749	178,722
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		31,507	16,820	13,752	10,857	5,796

分析欄

地方債残高の減少や地方債の平均利率の減による利子の減などにより毎年度着実に減少している。

※1 令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※2 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D) / (E))

(参考)

(百万円)

		年度	H30	R01	R02	R03	R04
減債基金 積立状況等 (注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額 (C)		90,368	102,277	83,093	55,272	69,276
	前年度末減債基金残高 (D)		612,799	650,352	623,985	576,027	557,468
	前年度末減債基金積立相当額 (E)		462,062	459,322	441,810	425,206	429,613

分析欄

本市ルールに則り、確実に積み立てており、積立不足はない。

(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

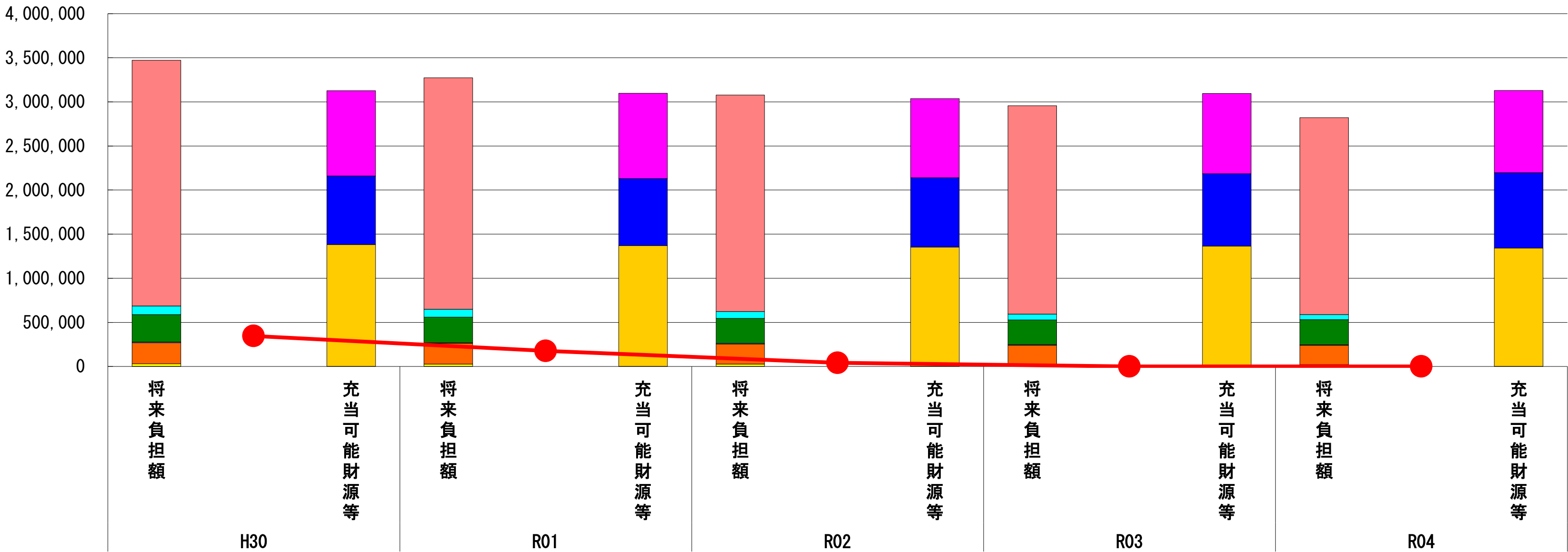
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和4年度

大阪府大阪市

（百万円）



（百万円）

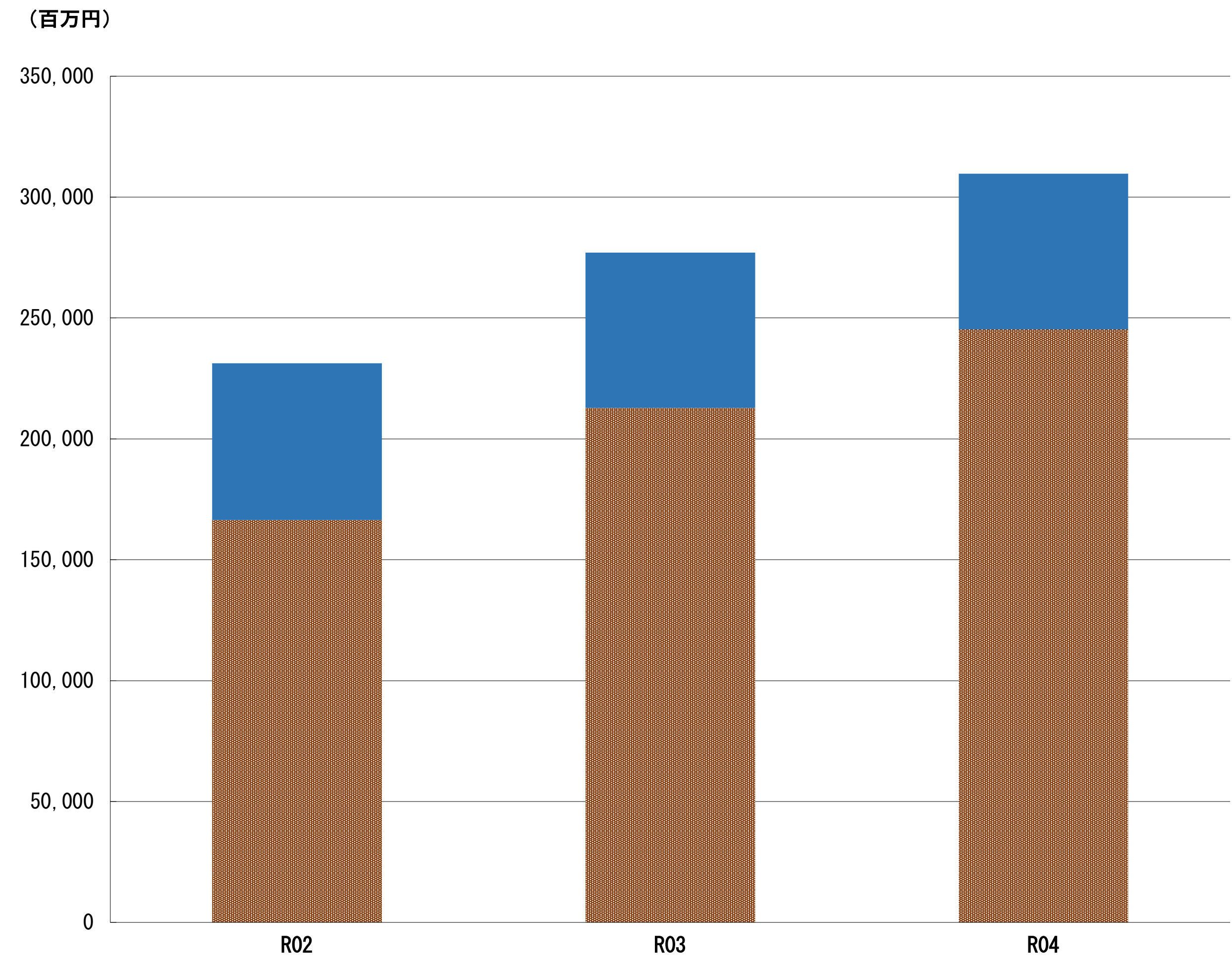
分子の構造		年度	H30	R01	R02	R03	R04
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		2,785,361	2,625,777	2,454,823	2,360,740	2,235,121
	債務負担行為に基づく支出予定額		99,424	88,277	77,408	66,268	55,728
	公営企業債等繰入見込額		308,783	289,885	282,245	280,491	284,093
	組合等負担等見込額		8,849	8,091	8,515	7,959	8,330
	退職手当負担見込額		239,730	234,245	229,242	216,730	216,488
	設立法人等の負債額等負担見込額		29,793	27,323	25,578	23,832	22,085
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		—	—	—	—	—
	連結実質赤字額		—	—	—	—	—
充当可能財源等 (B)	組合等連結実質赤字額負担見込額		—	—	—	—	—
	充当可能基金		967,903	966,191	897,658	908,767	932,391
	充当可能特定歳入		775,725	761,513	786,137	819,578	855,139
(A)－(B)	基準財政需要額算入見込額		1,383,105	1,370,027	1,353,105	1,365,738	1,342,444
	将来負担比率の分子		345,207	175,868	40,910	▲ 138,063	▲ 308,129

分析欄

この間の地方債残高の減少などにより、将来負担額が減少している。
その結果、令和3年度、令和4年度は充当可能財源等が将来負担額を上回り、マイナスとなっている。

※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



		（百万円）		
区分	年度	R02	R03	R04
 財政調整基金		166,382	212,731	245,229
 減債基金		－	－	－
 その他特定目的基金	その他特定目的基金	64,905	64,328	64,460
	教育振興基金	22,649	22,554	22,574
	交通政策基金	19,393	19,394	19,375
	都市整備事業基金	8,960	8,525	8,030
	土地区画整理事業基金	2,462	2,267	2,211
	地域活性化事業基金	1,536	1,520	1,531
基金残高合計		231,287	277,058	309,689

令和4年度	大阪府大阪市
基金全体 （増減理由） 令和４年度末の基金残高は、3,097億円となっており、前年度から326億円の増となっている。これは、財政調整基金で325億円の増となったことなどによるものである。 （今後の方針） 財政調整基金については、経済事情の著しい変動等により財源が著しく不足する場合や、災害発生への対応など、財政上の備えとして引き続き適切に管理していく。なお、その他特定目的基金の教育振興基金においては、高度経済成長期に建設した学校校舎の老朽改築等の対策費が多額に見込まれるなど、計画的な残高管理が必要と考えている。	
財政調整基金 （増減理由） 財政運営の透明性や財政規律を一層確保する観点から、年度間の財源調整状況をより明確化するため、平成24年度に基金を設置しており、令和４年度末の基金残高は、2,452億円となっている。令和４年度においては、令和３年度決算剰余金（308億円）等を積み立てたことなどにより、残高が325億円増加した。 （今後の方針） （仮称）区画整理記念会館整備事業への充当（取崩）などを予定している。そのほか、経済事情の著しい変動等により財源が著しく不足する場合や、災害発生への対応など、財政上の備えとして引き続き適切に管理していく。	
減債基金 （増減理由） — （今後の方針） —	
その他特定目的基金 （基金の使途） 教育振興基金：学校教育及び社会教育の振興を図る事業の資金に充てる。 交通政策基金：交通政策の推進を図る資金に充てる。 都市整備事業基金：都市施設の整備を目的とする事業を促進する経費に充てる。 土地区画整理事業基金：土地区画整理事業の各施行地区における事業の施工の費用、土地区画整理法第102条第１項の規定による仮清算金の交付に要する費用、法第110条第１項の規定による清算金の交付に要する費用及び、清算金の交付のために起こした本市公債の償還の財源に充てる。 地域活性化事業基金：モーターボート競走に係る勝舟投票券の場外発売場の所在地に属する区における地域の活性化を目的とする事業の推進を図る資金に充てる。 （増減理由） 社会福祉振興基金：あいりん貯蓄組合清算業務終了に伴う残余金など３億円を積み立てた結果、３億円の増となっている。 2025年日本国際博覧会大阪パビリオン基金：大阪パビリオンの整備及び運営に対する寄附金など３億円を積み立てた結果、３億円の増となっている。 都市整備事業基金：南海トラフ巨大地震に対する海岸堤防等の耐震対策などに充てるため５億円を取り崩した結果、５億円の減となっている。 （今後の方針） 教育振興基金については、高度経済成長期に建設した学校校舎の老朽改築等の対策費が多額に見込まれるなど、計画的な残高管理が必要と考えている。	

(12)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

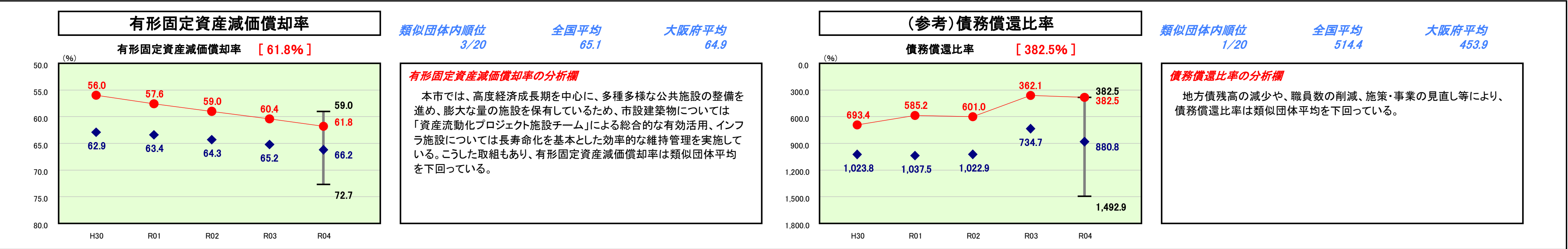
令和4年度

大阪府大阪市

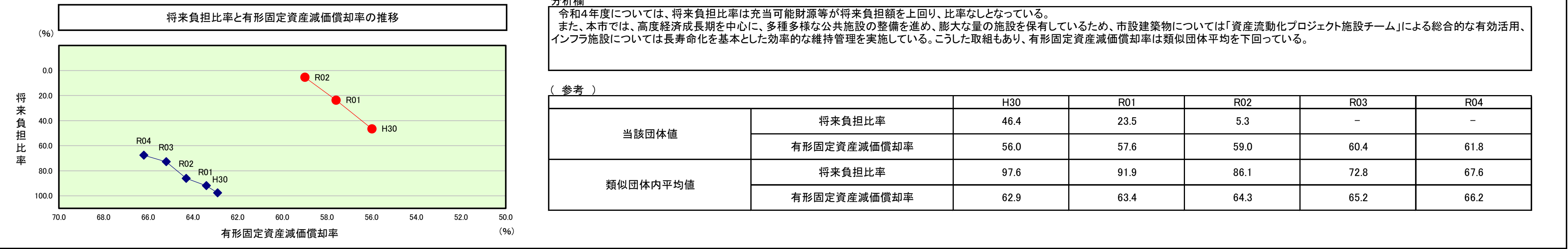
人	2,741,587	人(R5.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%
うち日本人	2,589,027	人(R5.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率
面積	225.33	km ²	実	質	公	債	費	比	率	1.3
歳入総額	1,938,280,969	千円	将	来	負	担	比	率	-	%
歳出総額	1,906,782,922	千円	市	町	村	類	型		H30	政令市
実質収支	25,772,960	千円	(	年	度	毎	)		R03	政令市
標準財政規模	872,042,473	千円							R01	政令市
地方債現在高	1,628,134,338	千円							R02	政令市
									R04	政令市

- 当該団体値
- 類似団体内平均値
- 類似団体内の
- 最大値及び最小値

- ※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
- ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
- ※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体毎の決算に基づく健全化判断比率等を算出していない団体については、債務償還比率、実質公債費比率、将来負担比率のグラフを表記しない。
- ※類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析

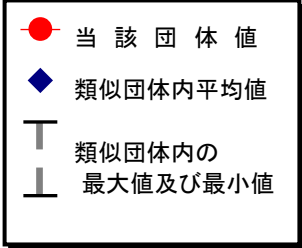


(13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

令和4年度

大阪府大阪市

人口	2,741,587人	(R5.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	2,589,027人	(R5.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	225.33km ²		実質公債費比率	1.3	%
歳入総額	1,938,280,969千円		将来負担比率	-	%
歳出総額	1,906,782,922千円		市町村類型	H30 政令市 R01 政令市 R02 政令市	
実質収支	25,772,960千円		(年度毎)	R03 政令市 R04 政令市	
標準財政規模	872,042,473千円				
地方債現在高	1,628,134,338千円				

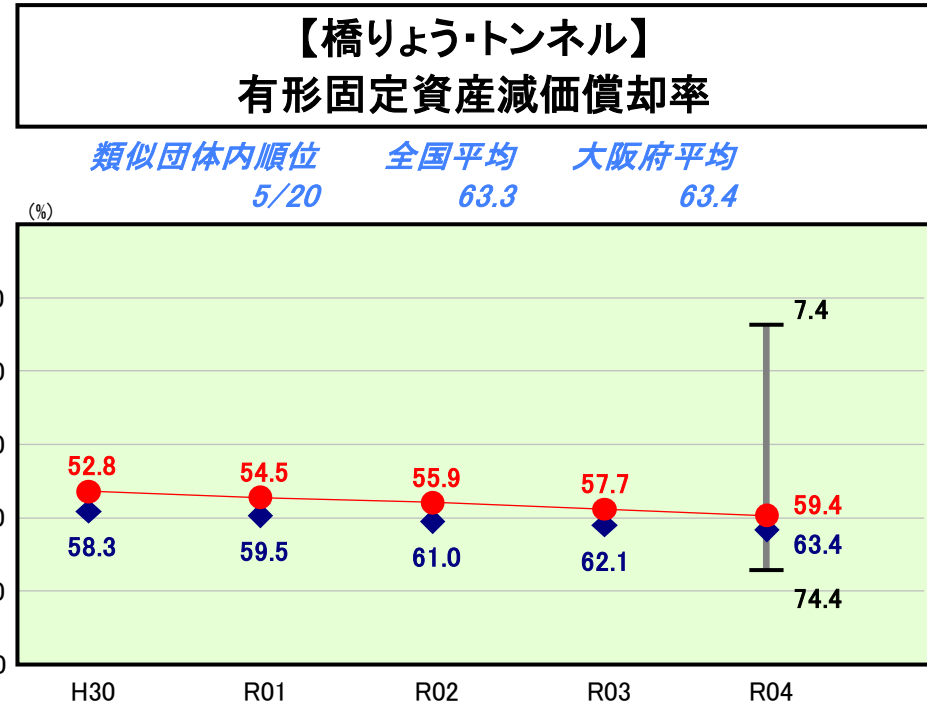
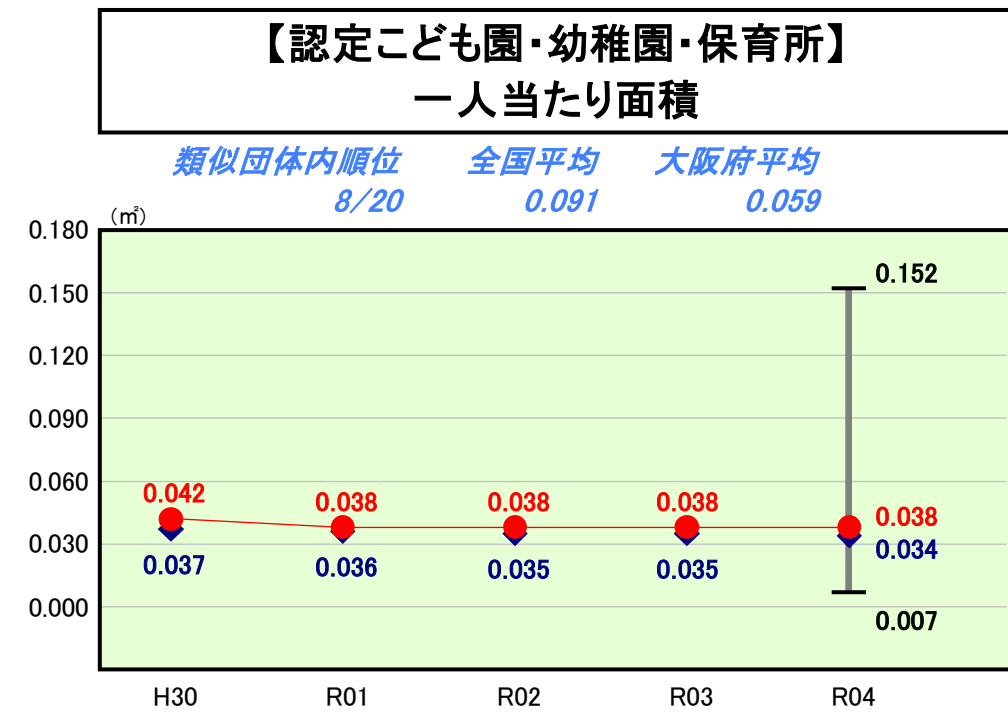
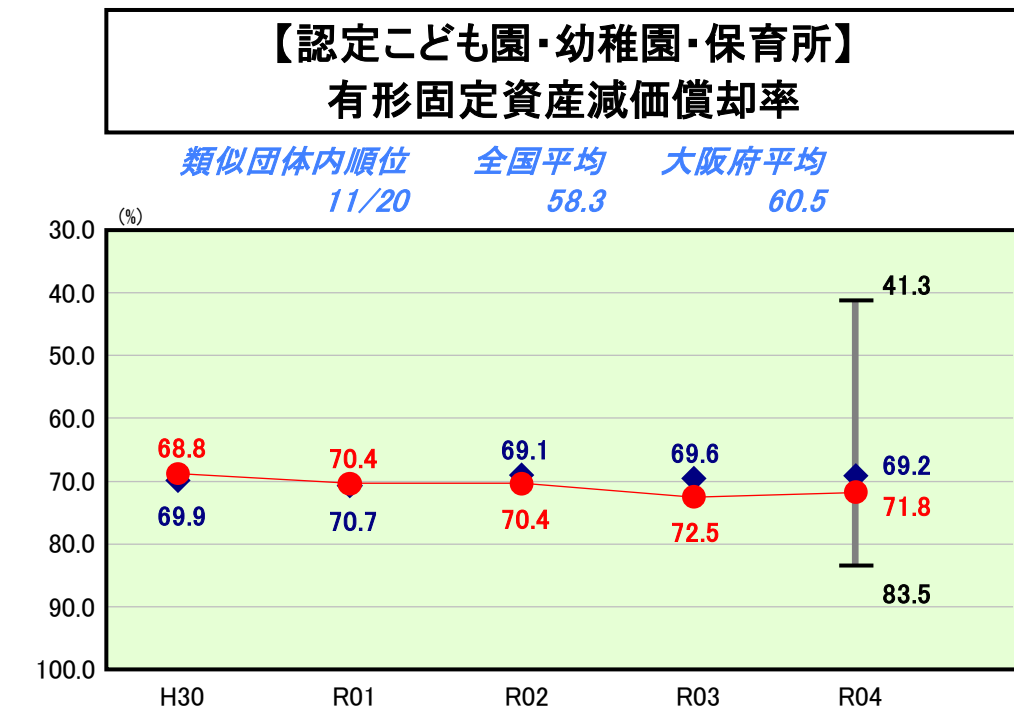
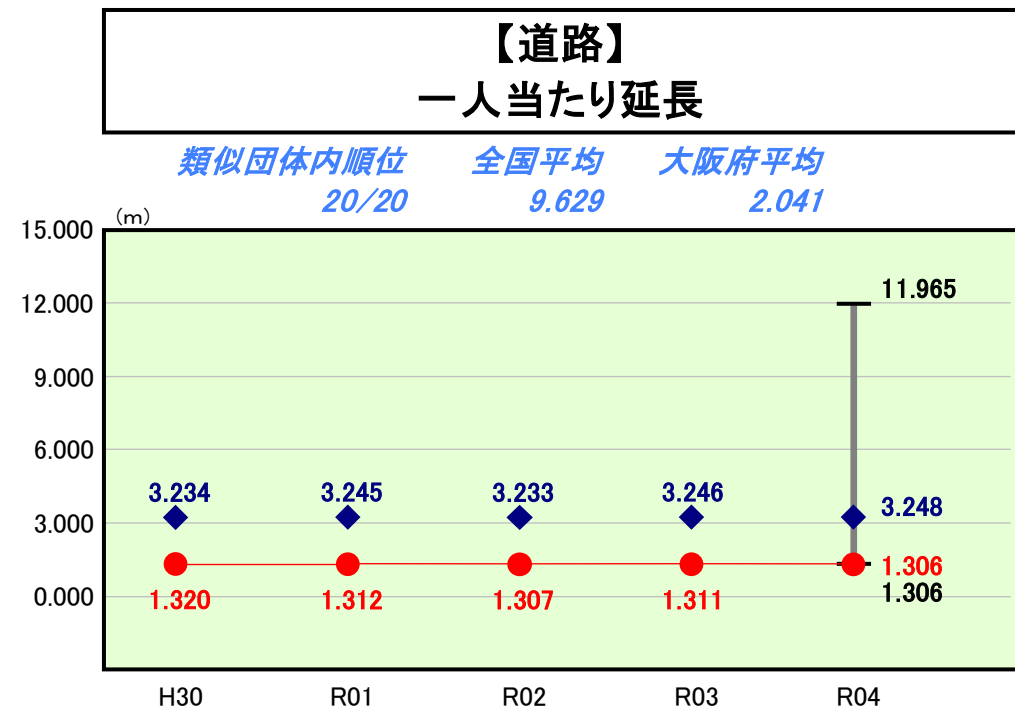
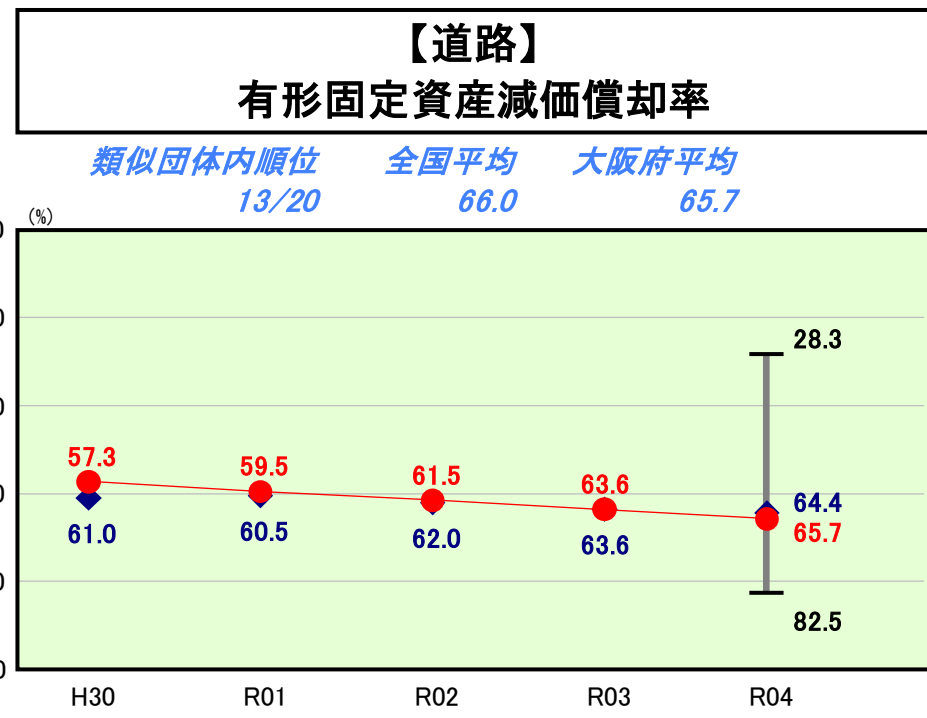


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。

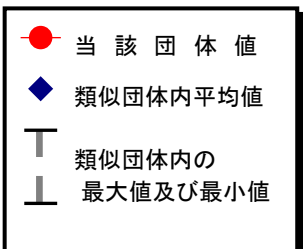


(13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

令和4年度

大阪府大阪市

人	2,741,587	人(R5.1.1現在)	実	比	率	-	%												
うち日本人	2,589,027	人(R5.1.1現在)	連結実	赤	字	比	率												
面積	225.33	k㎡	実	公	債	費	比	率	1.3	%									
歳入総額	1,938,280,969	千円	得	来	負	担	比	率	-	%									
歳出総額	1,906,782,922	千円	市	町	村	類	型	H30	政	令	市	R01	政	令	市	R02	政	令	市
実質収支	25,772,960	千円	(	年	度	毎	)	R03	政	令	市	R04	政	令	市				
標準財政規模	872,042,473	千円																	
地方債現在高	1,628,134,338	千円																	



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。

